▮はじめに┃

この度はホンダ車をお買い上げいただきましてありがとうございました。

安全快適にお乗りいただくため、必要な事項を本書に記載しましたので必ずお読みください。 文中の(注意)には特に注意していただきたいことが説明してあります。

名	称	型	式	エンジン型式	タイプ
シラ	= 1	E —	AA	ER(ターボ付)	TURBO II

なお、車両の仕様、その他変更により、本書の絵が実車と異なる場合がありますのでご了承ください。 万一異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダ販売店で点検、整備を受けてください。ホンダのサービス網一覧の所在地は別冊 "整備手帳"をご覧ください。お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのために本書をつけておいてください。

お客様へのおすすめ

ご使用にあたって

メータの見かた、使いかた

スイッチの使いかた

室内装備の使いかた、 車体各部の開閉

エンジンのかけかたと運転の しかた

ヒータ·エア コンディショナの 使いかた

いざというときには

運行前点検

6か月点検

簡単な整備と手入れ

サービス データ

主要諸元値

さくいん



安全は人と車がつくるもの

お車を安全快適にご使用いただくために、次のこと を守ってください。

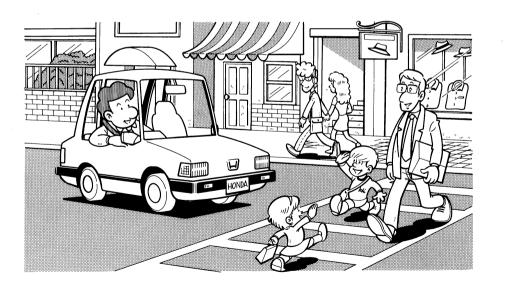
- ●この取扱説明書に従い、お車を正しく取り扱うこと。
- ●交通法規を守ること
- ●点検、整備を行うこと
- ●正しい安全知識を身につけること

正しい安全知識は別冊の **SAFETY DRIVING SAFETY POINTS** でも解説してありますので、ぜひお読みください。

公害防止

大気汚染防止のために定期点検を行ってください。

長期間の使用の間には排気ガス中のCO(一酸化炭素)、HC(炭化水素)、NOx(窒素酸化物)などの値が変化することもありますので、必ず定期点検を行ってください。



点検、整備

安全、快適にご使用いただくため、ホンダ車の点検、 整備方式に従って点検を実施してください。

点検には、

- ●自動車を使用する人が、1日1回、運転する前に 行う運行前点検
- ●自動車を使用する人が定期的に行う6か月、12か月、24か月ごとの定期点検 これらの点検は"道路運送車両法の自動車点検基準"に基づいております。必ず行ってください。
- ●定期的に行う部品交換整備
- ●ホンダ指定の初回1か月目、6か月目の無料点検があります。

詳細は別冊"整備手帳"をご覧ください。





純正部品

あなたのお車に最適なホンダ純正部品をご使用ください。

純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。

ホンダ販売店でお求めになれます。

純正部品には、つぎのマークがついています。



車にあった部品の使用

走行に関連する部品はホンダが運輸省に届け出をした指定のもの以外は装着しないでください。

ラシオ、カー ステレオ、エア コンディショナなどを 装着する場合でも、装着に際してはホンダ販売店に ご相談ください。

ご使用にあたって

安全のために	
お車を大切にするために	6
いざというときのために	
経済走行のために	

ご使用の前に特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをまとめてあります。 必ずお読みください。

安全のために

●シート ベルトは命綱

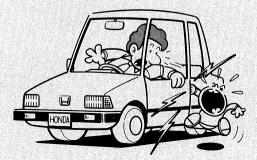
車を運転する前に必ず装着してください。 上腹部を避け、腰骨にぴったり装着してください。



- ●お子さまと同乗のときは
- お子さまは不意の動作をし、運転の妨げになることがありますので後席に乗せてください。
- ●車を離れるときは、お子さまだけを車内に残さないでください。

いたずらによる車の発進、火災、また炎天下においては車内の高温などにより思わぬ事故を招くことがあります。

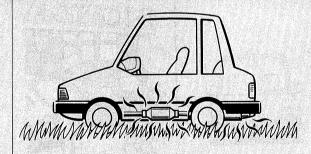
●ドアを閉める時はお子さまの手をはさまないよう 注意して行ってください。



- ●火災を防ぐために
- 燃料補給時は火気厳禁です。エンジンは必ず止めてください。



● 走行後の排気管付近は、かなり高い温度なので枯草、紙、油など燃えやすいものの近くには駐停車 しないでください。

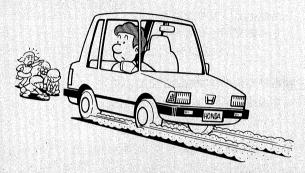


- ●車の後方に木材、油などの可燃物がある場所への 駐停車は避けてください。やむを得ず駐停車する場合はエンジンを必ず止め
- ■エンジンを始動する前に可燃物が排気管などに巻きついていないか点検してください。

てください。

●事故を防ぐために

●後退するときは子供、障害物に注意してください。 後写鏡では確認できない死角(車の直後など)が あります。



- ●ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。 ハンドル操作の妨げとなりたいへん危険です。
- 運転者の足もとに操作を妨げるようなものを置か ないでください。
- 走行中はエンジン スイッチを絶対に "LOCK"位 置にしないでください。 キーが抜けるとハンドルが固定され非常に危険です。
- ●走行中,エンジンを止めないでください。 ブレーキ倍力装置が作用しないのでブレーキのき きが悪くなります。

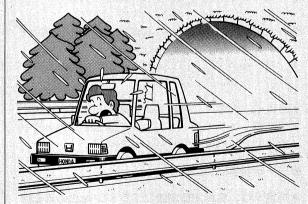
- ●ブレーキのきき具合、ペダルの作動具合など、ブレーキ系統に異常を感じたら、ただちに点検を受けてください。
- ●滑リやすい路面では急加速、急減速、急ブレーキ を避けてください。 横滑リして方向性を失い危険です。
- ●水たまり走行あるいは洗車後はブレーキのききが悪くなることがあります。ブレーキ ペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ブレーキのききが悪い場合は前後の車に十分注意してブレーキ ペダルを軽く踏みながらしばらく低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。
- ●長い下リ坂などでは走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落としてエンジン ブレーキを併用してください。 ブレーキ ペダルを踏み続けるとブレーキ部の温度が上がリブレーキのききが悪くなる恐れがあります。
- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキをかけ、変速 レバーを平地や下リ坂では®(後退)に、上リ坂で は1速に入れてください。さらに輪止めをすると 効果があります。

●手荷物類はシートの高さを越えないように積んで ください。

急ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し危険です。

- ●走行中にエンジンが停止するとブレーキ倍力装置が作用しなくなり、ブレーキのききが悪くなります。ブレーキペダルを強く踏めば、ブレーキはききますので通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
- ●風の強い日や雨天ではスピードを控えめにしまし よう。横風を受け車が横に流されるようなときは、 ハンドルをしっかり握リスピードを徐々に下げて 進路を立て直しましょう。

トンネルの出口、橋や土手の上、山を削った切通 しの部分では特に横風が発生しやすいのでご注意 ください。



お車を大切にするために

●点検、整備について

●お出かけ前には車の点検を行いましょう。

●41ページ

● 6 か月ごとの点検を必ず行ってください。

○48ページ

●エンジン、燃料噴射装置、電子制御装置および触 媒装置などに悪影響を与えないため、ご自分でエ ンジン調整および部品、配管の取り外しを行わな いでください。

ホンダ販売店で行ってください。

●触媒装置について

- ●不適当な取り扱いをしたり、万一故障すると触媒 温度が異常に高くなり焼損する恐れがありますの で、次のような取り扱いはしないでください。
- 1. 走行中はエンジン スイッチを絶対に切らないでください。
- 2. エンジンを止めるときは、空ぶかし直後にエンジン スイッチを切らないでください。
- 3. 充電警告灯が点灯した状態で運転を続けないでください。
- 4. 押しがけ、けん引によるエンジン始動をしない でください。
- ●点火系、充電系、燃料系の不調は触媒装置に大き く影響しますので、エンジン不調を感じたときは すみやかに点検を受けてください。

●ターボ装置について

● 高速走行、登坂走行直後にエンジンを止めるときは、必ず約1分間アイドリング運転を行ってください。

ターボ装置の機能を損う恐れがあります。

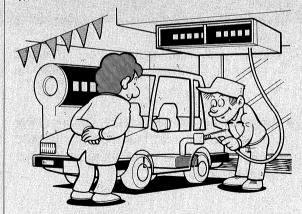
●運転操作について

- ●1000km走行するまでは、急発進、急加速は避け控 え目な運転をしてください。
- ●走行中、歩道の縁などに乗り上げたり、すり当て たりしないでください。タイヤ、リムが損傷することがあります。

●使用燃料について

●必ず無鉛ガソリンを使用してください。 有鉛ガソリンや燃料添加剤を使用しますと触媒装 置などに悪影響をあたえます。

無鉛ガソリンを補給しましょう!!



●使用エンジンオイルについて

●必ず指定のホンダ純正 HYPER オイル (20W-40)を使用してください。ただし外気温が-15℃以下になる地域においては、

たたし外気温が-15℃以下になる地域においては、 冬期のみホンダ純正オイルウルトラ-U(4サイク ル4輪車用)10W-30をご使用ください。

エンジン オイルの補給 ●61ページ

●電子制御燃料噴射装置について

- ●無線装置を取り付けますと、誤作動を起こし、エンジンに異常をきたす恐れがあります。
- ●エンジンの回転をあやまって限界回転数(6,000rpm) 以上の赤色表示部(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、約6,600rpm以上で燃料 供給が停止されます。その時、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。 限界回転数以上の赤色表示部に入らないように運

限界回転数以上の赤色表示部に入らないように運転してください。

いざというときのために

いざというときのために本書の次の箇所をお読みください。

- ●警告灯が点灯したときの処置
- O 10ページ
- ●非常点滅灯スイッチの使いかた
- 15ページ

●踏切で故障したとき

- 36ページ
- ●高速道路で故障したとき
- 36ページ

●非常発炎筒の使いかた

● 36ページ

●故障時の連絡

● 37ページ

けん引のしかた

- 37ページ
- ●タイヤ チェンを装着するとき
- ●38ページ

●バッテリ上がリの処置

- 39ページ
- ●オーバーヒートしたときの処置
- ●39ページ

●電球が切れたとき

● 39ページ

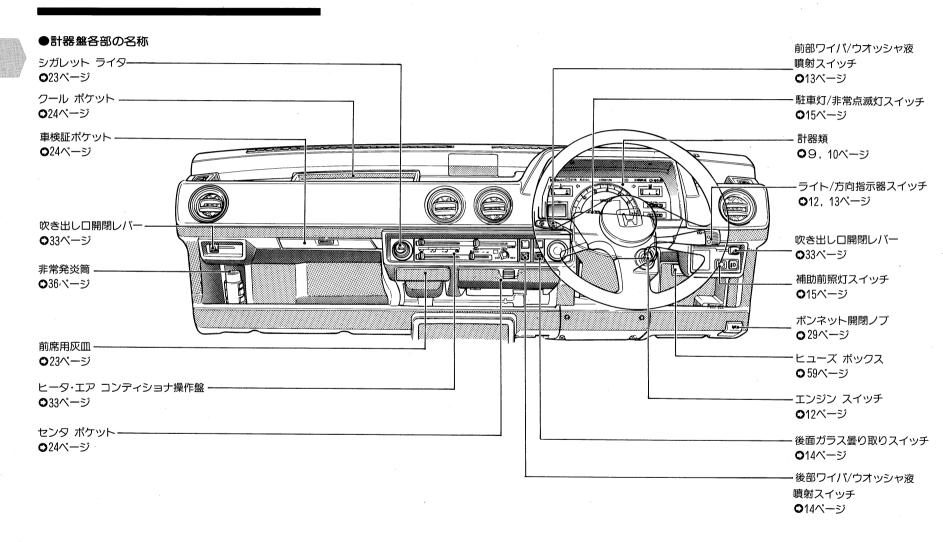
●工具が必要なとき

- 55ページ
- ●タイヤがパンクしたとき
- 56ページ
- ●ライト類が点灯しないとき (ヒューズの交換)
- 59ページ

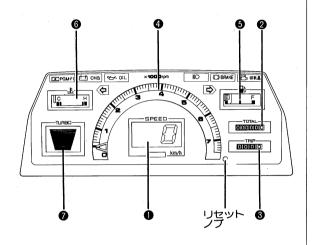
経済走行のために

- ●不必要な急加速、急減速などアクセル ベダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- ●高速道路でも不必要な高速走行は避け、80km/h程 度で走行しましょう。
- ●変速レバー操作はクラッチ ペダルをいっぱいに踏 み込んで行い、クラッチ ペダルの足のせ運転、半 クラッチの連続使用をしないでください。
- ●長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- ●車間距離は十分取り、不必要な急ブレーキをかけないでください。

メータの見かた、使いかた



計器類



●速度計

走行速度をkm/hでデジタル表示します。 約100km/h以上になるとブザーが鳴り速度警告灯が点 灯します。 **速度警告灯 ●**11ページ エンジン スイッチを"ON"にすると"188"と表示し、 その後"0"になれば正常です。

②積算距離計

走行した累計をkmで示します。 右端の数字は100mの単位です。

❸区間距離計(トリップ メータ)

区間距離を知りたいときリセット ノブを押して *0 ″ に戻します。

4 エンジン回転計

- 1分間あたりのエンジン回転数を示します。
- ●限界回転数(6,000rpm)以上の赤色表示部(レッド ゾーン)に入らないように運転してください。

⑤燃料計

エンジン スイッチが $^{\circ}ON''$ のとき燃料の残量を示します。

●針が"E"に近づいたら早目に補給してください。使用燃料について ●6ページ

6 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は目盛の赤いマークより内側をさすのが正常 です。

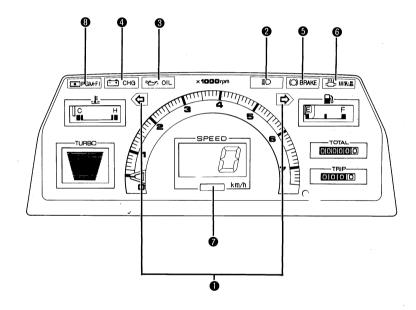
●万一、針が赤いマークに入った場合はオーバーヒートの恐れがあります。ただちに安全な場所に停めてください。

その後の処置方法はオーバーヒートした場合

●39ページ

ターボの効き具合を表示します。 表示部が上昇するにつれて、効果を発揮してくることを示します。

表示灯、警告灯



●方向指示器表示灯〈□ □〉

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

- ●電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったもの を使用したときは、表示灯の点滅が異常になりま す。
- ②前照灯の上向き(ハイビーム)表示灯 前照灯が上向きのときに点灯します。

❸油圧警告灯 ℃

エンジンの潤滑系統が異常のときに点灯します。エンジン スイッチを *ON*にすると点灯し、エンジン始動後、消灯すれば正常です。

● 万一、運転中に点灯した場合は、安全な場所に停車しエンジンを止め、エンジン オイル量を点検してください。

エンジン オイルが減っていないのに点灯しているときは、点検を受けてください。

エンジン オイル量の点検 ●45ページ

④充電警告灯 ፫៎

充電系統が異常のときに点灯します。

エンジン スイッチを*ON″にすると点灯し、エンジン始動後、消灯すれば正常です。

● 万一、運転中に点灯した場合はただちに点検を受けてください。

発電機(ファン)ベルトの点検 ●45ページ

づレーキ警告灯 (〇)

駐車ブレーキがかかっているときおよびブレーキ液 量が著しく減少しているときに点灯します。

● 万一、駐車ブレーキ レバーを引いても点灯しないとき、戻しても消灯しないとき、走行中点灯したときは、ただちに点検を受けてください。

ブレーキ液量の点検 ●44ページ

6排気温警告灯 끝

触媒装置の温度が異常に高いときに点灯します。エンジン スイッチを*ON″にすると点灯し、エンジン始動後、消灯すれば正常です。

●エンジン スイッチを*ON″にしても点灯しない場合は、点検を受けてください。 充電警告灯が点灯すると同時に排気温警告灯も点灯します。(この場合は触媒装置の異常を知らせて

〈走行中点灯した場合〉

いるものではありません。

消灯するまで半分程度の速度に落とし、急加速、急 減速などの無理な運転をしないでください。消灯し たら、元のように走行できます。

速度を落としても消灯しない場合は、枯草などの可 燃物のない安全な場所に停車しエンジンを止めて冷 えるまでお待ちください。

〈停車中点灯した場合〉

エンジンを止めて冷えるまでお待ちください。 冷えた後、エンジンを始動し、消灯していれば通常 の走行が可能です。

● 消灯しないときやふたたび点灯するときはそのまま使用しないで点検を受けてください。

触媒装置について ●6ページ

②速度警告灯

走行速度が約 100 km/h 以上になると点灯します。 エンジン スイッチを $^{\circ}$ ON $^{\prime}$ にすると点灯し、数秒後 に消灯すれば正常です。

③電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)警告灯

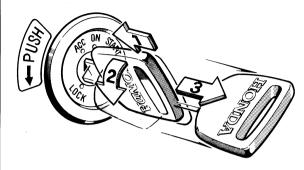
燃料噴射装置が異常のときに点灯します。 エンジン スイッチを"ON"にすると点灯し、数秒後 に消灯すれば正常です。

●万一、運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、必ず点検を受けてください。

スイッチの使いかた

エンジン スイッチ12
ライト スイッチ12
方向指示器スイッチ13
ワイパ/ウオッシャ液噴射スイッチ13
後面ガラス曇り取りスイッチ14
駐車灯スイッチ15
非常点滅灯スイツチ15
補助前照灯スイツチ15

エンジン スイッチ



*LOCK"……キーの抜き差しをする位置です。ハンドルの固定は *ACC" の位置でキーを押し込んで *LOCK" 位置まで 回してキーを抜けば固定されます。

- ●キーは確実に差し込んで操作してください。
- "LOCK"の位置から"ACC"の位置にキーが軽く回らない場合は、ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

"ACC" ……エンジンを止めてラジオ(用品)を聞ける位置です。

ON"*エンジンがかかっているときの位置です。

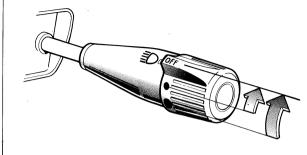
● エンジンを止めた状態で *ON″の位置にし、長時間 放置しないでください。

バッテリ容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。

"START" ……エンジン始動位置です。

始動したら、キーから手を離して ください。自動的に *ON″ の位置 に戻ります。

ライト スイッチ



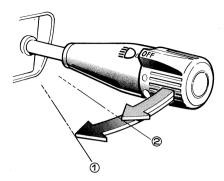
●ライトの点灯

エンジン スイッチの位置に関係なくつぎのように点灯します。

ライト名 スイッ チ位置	前照灯	車幅灯・尾灯・番号灯 計器類照明灯	
•		点 灯	
•	点灯	点 灯	

●ライトの消灯

ライト スイッチを $^*OFF''$ の位置にすると消灯します。



●前照灯の上向き (ハイ ビーム) と下向き (ロー ビーム) の切り換え

レバーを①の位置まで引くと上向きと下向きの切り換えができます。遠くまで照らしたいとき上向きにします。表示灯(●10ページ)が点灯して上向きであることを知らせます。

●対向車のあるとき、都市内走行など上向きが不適 切なときは下向きにします。

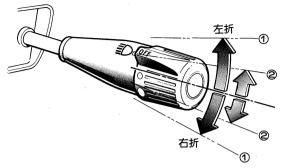
●追越合図

レバーを軽く②の位置まで引いたり離したりすると 前照灯が点滅します。

先行車に追越合図を送るときに使用します。

●前照灯が上向き (ハイ ビーム) のときは作動しません。

方向指示器スイッチ



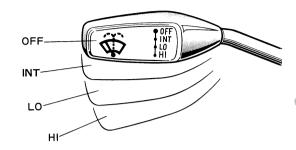
通常は①の位置で使用します。

この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。

車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら 使用します。

ワイパ/ウオッシャ液噴射スイッチ

●前部



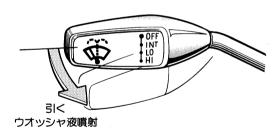
"OFF"停止

"INT"(間欠) …… 雨量の少ないとき。

約5秒毎に作動します。

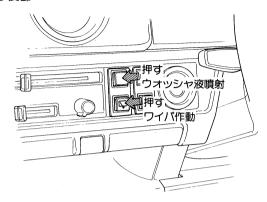
*LO" (低速)……普通雨量のとき

"HI" (高速)………雨量の多いとき



前面ガラスが汚れて見にくいとき、レバーを手前に 引けば、ウオッシャ液が噴射します。

●後部



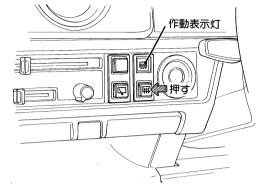
- ●ワイパを止めるときは、エンジンスイッチが"ON" のままワイパスイッチを"OFF"にしてください。 ワイパを正しい位置で止めるためです。
- ●空ぶきはガラス面に傷をつけたり、ワイパをいためたりします。ウオッシャ液を噴射してからワイパを作動させて
- ●ウオッシャ液が出ないときはスイッチを切ってく ださい。ウオッシャ液が空のままで作動させるとポンプの 故障の原因となります。



ください。

寒冷時、ウオッシャ液を噴射するときは 先にヒータを使用して前面ガラスを暖め てください。吹きつけられた液が凍結し 視界をさまたげるのを防ぐためです。

後面ガラス曇り取りスイッチ

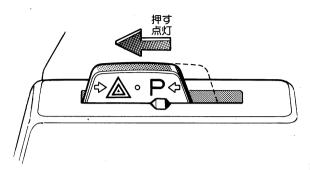


スイッチを押すと同時に作動表示灯が点灯し、後面 ガラスが暖められ曇りが取れます。

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら スイッチを切ってください。
- エンジンの回転が低いとき長時間使用しないでく ださい。
 - バッテリ容量が低下し、エンジン始動に影響する ことがあります。
- ガラスの室内側に電熱線が装着されています。清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布で拭いてください。

電熱線は傷つき易いので手荷物などで傷つけない ようにしてください。

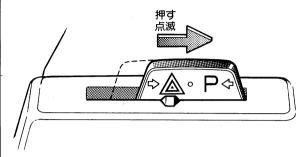
駐車灯スイッチ



スイッチを左に押すと前後の駐車灯が点灯します。 夜間、路上駐車するときに使用します。

●短時間の駐車にご使用ください。 完全充電の新しいバッテリでも約9時間以上使用 するとバッテリの容量が低下し、エンジンの始動 ができなくなります。

非常点滅灯スイッチ



スイッチを右へ押すとすべての方向指示器のランプ が点滅します。

故障でやむを得ず路上駐車するとき使用します。駐 車灯スイッチと兼用です。

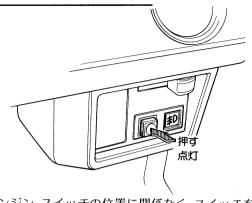
●非常時にのみご使用ください。 完全充電の新しいバッテリでも約3時間以上使用 するとバッテリ容量が低下し、エンジンの始動が できなくなります。



非常点滅灯を使用した後は確実にスイッチを戻してください。

確実に戻さないと方向指示器は作動しません。

補助前照灯スイッチ



エンジン スイッチの位置に関係なく、スイッチを押すと補助前照灯、車幅灯、尾灯、番号灯および計器類照明灯が点灯します。

霧、雨天などで視界が悪い場合に使用します。

室内装備の使いかた、 車体各部の開閉

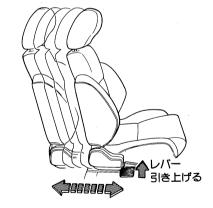
シートの操作	16
シート ベルト	18
サンバイザ	20
防眩式室内後写鏡	20
ボディ ソニック オーディオ装置	20
シガレット ライタ	23
灰皿	23
クール ポケット	24
小物入れ	24
ドアの施錠、解錠	25
室内灯	25
後部ドア(テールゲート)	26
後部ドア(テールゲート)照明灯	26
サンルーフ	27
ボンネット	29
燃料補給口	20

シートの操作

●前席

<背もたれの調節>
しバー | 引き上げる

〈位置の調節〉



●後席シートを倒して使用するときは、前席シート は最後部位置まで調節できません。 〈後席への乗り降り〉



レバーを引き上げると、背もたれが倒れます。後席 からは助手席のノブを押せば、背もたれが倒れます。

> シートの調節は走行する前に行ってく ださい。

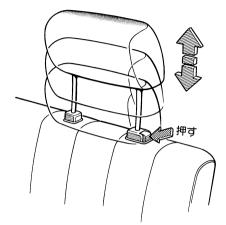
(注意

走行中はシートが急に動いて危険です。

●シートと背もたれを調節後は固定されていることを必ず確認してください。

●後席

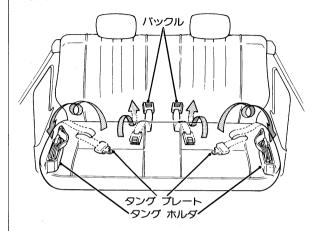
〈ピローの高さ調節〉

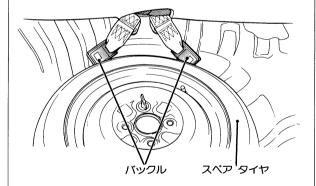


3段階に調節できます。ピローを持ち上げると高くなります。低くするときはノブを押しながらピローを下げます。

●固定できる位置で使用してください。

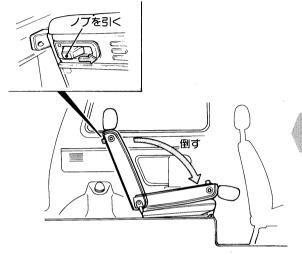
〈後席シートの折りたたみかた〉



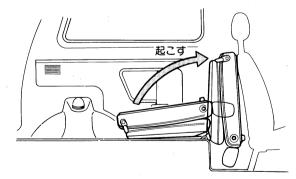


後席シートを折りたたむ時は、シート ベルトのタング プレートをタング ホルダに収納し、バックルはシートと背もたれの間を通し、スペア タイヤ ハウス部に収納してください。

●後席に座る場合は必ずシート ベルトを取り出し、 装着してください。



ピローを収納した後、ノブを引き背もたれを倒します。

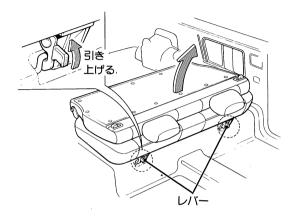


背もたれごとシート クッションを起こします。

シートを元に戻すときは以上の操作と逆の要領で行ってください。

背もたれは後へ押しつければ自動的に固定します。

〈後席シートの取り外し〉



背もたれを倒した状態で、シート クッション下のレバーを引き上げ、後席シートを取り外します。



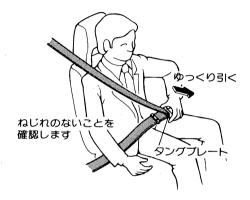
●操作後は背もたれおよびシート クッションが固定されていることを必ず確認してください。

シート ベルト

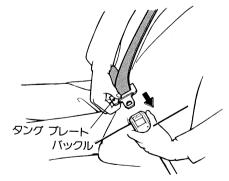
シート ベルトは車を運転する前に必ず装着してください。

●前席ベルト

シートを正しい運転姿勢位置にし、上体を起こして すわります。



タング プレートをつかみ、ゆっくり引き出します。

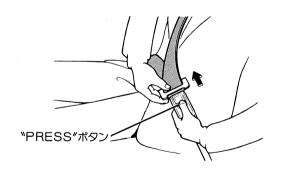


ベルトにねじれがないようにし、タング プレートを バックルの中へ "カチリ"と音がするまで差し込み ます。



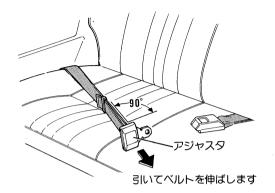
シートの調節レバーなどにベルトが引っかかっていないことを確認します。

腰骨にかかるようにベルトを図のように引き、腰部 に密着させます。



外すときはバックルの PRESS がボタンを押します。 ベルトが自動的に収納されますのでひっかかったり、 ねじれたりしていないかを確認します。

●後席ベルト



アジャスタを図のようにし、ベルトを引いて必要な 長さよリ少し長めにします。



ベルトにねじれがないようにし,タング プレートを バックルの中へ *カチリ^{*} と音がするまで差し込み ます。



腰骨にかかるようにベルトを図のように引き、腰部 に密着させます。



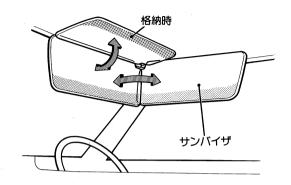
外すときはバックルの PRESS ボタンを押します。 外したベルトはタング プレートとバックルを結合し ます。

- ●ベルト締付力を丈夫な腰骨の部分に拡 散するため、ベルトは上腹部を避け腰 骨にぴったり装着してください。
- ●ベルトは一人用です。二人以上で一本のベルトを使用しないでください。
- ●一人ですわることができない乳幼児の 場合は装備されているシート ベルトを 直接使用しないでください。
- ●シート ベルトを装着した状態でベルトがあご、のどに当たるお子さまなどは 危険ですから後席に乗り、後席ベルト を装着してください。



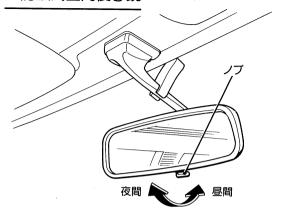
- ●ねじれた状態で使用するとベルトの機能が低下することがあり、危険です。ねじれないように使用してください。
- ●バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。十分な機能をはたさなくなることがあります。
- ●ベルトが汚れた場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯にひたした布で拭き取り、 日陰干しにし乾かしてください。
- ●装着した状態で万一事故に合った場合 はベルト一式を交換してください。

サンバイザ



サンバイザを横に移動するときは、一度前方におろしてから行います。

防眩式室内後写鏡



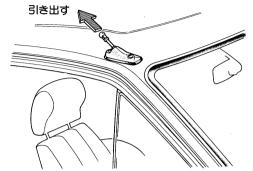
夜間走行時に後続車のライトがまぶしいときにノブ を夜間の位置に切り換えるとライトの反射が弱くな リます。

・視野の調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

ボディ ソニック オーディオ装置

(新車注文時に注文いただく装備です。)

●アンテナ `

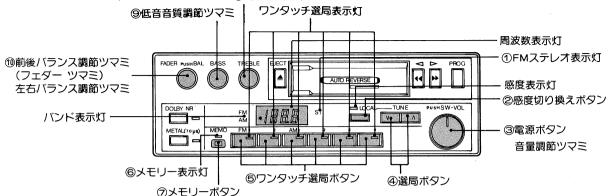


ラジオを聞くときはアンテナをいっぱいまで伸ばし ます。

●屋根の低い場所、洗車場などでは必ずアンテナを 収納してください。

アンテナを曲げたりすると伸縮性を損います。

⑧高音音質調節ツマミ



〈電源〉

●ラジオの使い方

エンジンスイッチが $^{\circ}$ ACC ' または $^{\circ}$ ON ' 位置のとき、 $^{\circ}$ のボタンを押せば電源が入り、もう一度押せば切れます。

〈選局操作〉

⑤のボタンを押すと、電子音(ピー音)を発しあらか しめセットされた放送が受信できます。

FMステレオ放送が感度よく受信できた時は①の表示灯が点灯します。

〈音量調節〉

- ③のツマミで調節します。
- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用 ください。

〈音質調節〉

⑧と⑨のツマミを左右に回して、低音と高音の音質 をそれぞれ調節します。

〈バランス調節〉

⑩のツマミを押したまま左右に回すと、左右スピーカーの音量バランスが調節できます。

⑩のツマミをそのまま左右に回すと、前後スピーカーの音量バランスが調節できます。

●標準の2スピーカー装備状態ではこの機能は、はたらきませんが、純正スピーカーを追加装備した場合には、この前後音量バランス機能が利用できます。

〈AM/FMの切り換え〉

⑤のボタンの "FM1" か"FM2" を押せば、FMとなり、"AM1~4" のいずれかを押せば、AMに切り換わり、バンド表示灯が点灯します。

〈選局ボタンの操作〉

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされ た放送局以外を聞く場合に操作します。

④のボタンを1秒以上押すと、電子音(ピー音)を発しながら自動選局し、放送を受信すると止まります。ボタンの右側を押すと周波数の高い方へ移動し、左側を押すと低い方へ移動します。

手動選局するときは④のボタンに軽く触れます。触れるたびに電子音(ピー音)と同時に、受信周波数が少しずつ変わり、選局できます。

〈受信感度の切り換え〉

夜間など電波状態が良く、微弱な電波まで受信して わずらわしいときに操作します。

②のボタンを押すと良好な自動選局ができ、感度表示灯が点灯します。

〈ワンタッチ選局の記憶操作〉

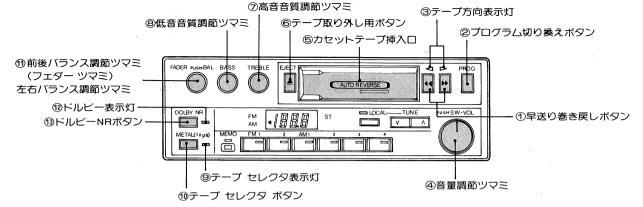
④のボタンで選局します。選局したあと⑦のボタンを押し込んでから⑤のボタンを押します。

同じ要領ですべてのボタンに記憶できます。

FM2局、AM4局まで記憶できます。

- ●⑥の表示灯が点灯(約10秒間)している間に⑤のボタンを押してください。⑥が消灯しているときは記憶できません。
- ●一度電源が切れた場合 (バッテリーを外したとき、 ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。 そのときは再度記憶操作をしてください。

●カセット プレーヤの使い方



く電源>

エンジン スイッチが $^*ACC'$ または $^*ON''$ のときにカセット テープを * のに差し込めば電源が入り、演奏が開始されます。

ラジオの電源が"ON"のままでもテープを差し込めば、 自動的にテーブ演奏に切り換わります。

〈音量調節〉

④のツマミで調節します。

● 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度でご使用 ください。

〈音質調節〉

⑦と®のツマミを左右に回して、低音と高音の音質をそれぞれ調節します。

〈バランス調節〉

①のツマミを押したまま左右に回すと、左右スピーカーの音量バランスが調節できます。

①のツマミをそのまま左右に回すと、前後スピーカーの音量バランスが調節できます。

●標準の2スピーカー装備状態ではこの機能は、はたらきませんが、純正スピーカーを追加装備した場合には、この前後音量バランス機能が利用できます。

〈プログラムの切り換え〉

テープの片面の演奏が終了すると自動的にもう一面 の演奏を開始します。演奏の途中で切り換えたいと きは、②のボタンを押してください。

〈早送り、巻き戻し〉

早送りは③の表示と同じ方向表示の①のボタンを押し、巻き戻しは反対方向表示の①のボタンを押します。

早送り、巻き戻しを止めるときは、押されているボタンと反対のボタンを軽く押します。

〈演奏の停止〉

⑥のボタンを押してカセットテープを取り出します。 同時に電源も切れます。ラジオの電源がONのとき ラジオ放送に切り換わります。

〈ドルビーNRボタン〉

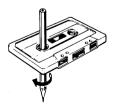
ドルビー録音されたテープを再生する場合に、③の ボタンを押します。同時に②の表示灯が点灯し、高 域雑音の少ない演奏が楽しめます。

※ "DOLBY"はトルヒー研究所の登録商標です。

〈テープ セレクタ ボタン〉

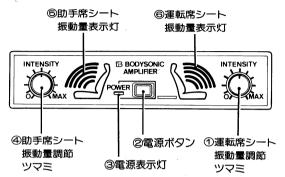
クローム テープ、メタル テープを演奏するときに、 ⑩のボタンを押します。同時に⑨の表示灯が点灯し ます。

- C-120 テープは非常に薄いため、伸びたり、巻き付いたりして故障の原因となりますのでご使用は避けてください。
- ●カセット ブレーヤを使用しないときは、カセット テープを取り出してください。
- ●カセット テープはケースに入れ、ほこりや直射日 光を避けて保管してください。
- ●カセット テープは、鉛筆などでたるみを取ってから差し込んでください。



●音が歪んだ場合は、市販のクリーニング テーブなどでプレーヤの手入れをしてください。

●ボディ ソニック アンプの使い方



〈電源〉

エンジン スイッチが "ACC" または "ON" 位置のときに、②のボタンを押せば電源が入り、もう一度押せば切れます。

電源が入っているときは、③の表示灯が点灯します。

●音源(ラジオまたはカセットプレーヤ)の極低音域 を振動として伝えるため単独では使用できません。

〈振動量調節〉

①または④のツマミでお好みに応じて調節します。 振動量が大きくなると、⑤または⑥の表示灯の点滅 数が増えます。

シガレット ライタ



ライタは自動的に戻りますので押し込んだら手を離 し戻るまで待ちます。

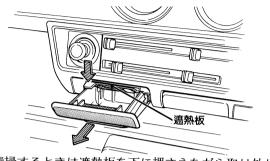
- ●使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に 戻してください。
 - ●押さえつけたままにしないでください。 ライタが過熱して非常に危険です。
 - ●他車のライタを使用しないでください。戻らなくなることがあります。



- ●30秒以上たっても戻らないときは故障 の恐れがありますので手で引き出して ください。
- ライタのさし込み口からはホンダ純正 品以外の電気製品の電源を取り出さな いでください。

灰 皿

●前席用



清掃するときは遮熱板を下に押さえながら取り外し ます。



清掃するときは図の状態で下部を少し引き上げ取り 外します。

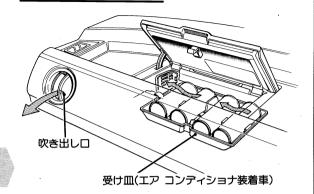
- ●使用後は、必ず閉めてください。
- ●タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に入れてください。



●吸いがらをためすぎたり、紙くずなど の燃えやすいものを入れないでくださ い。

タバコの火が燃え広がる恐れがありま す。

クール ポケット



缶入り飲料を入れる容器です。

エア コンディショナを装着すると、冷房時缶入り飲料を冷やすことができます。

冷房のしかた ●35ページ

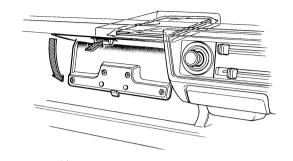
- ●ボックス内は風の通路になっています。ボックス 内の通気口をふさぐと吹き出し口からの風量が少 なくなります。
- ●缶入り飲料以外は入れないでください。

注意

走行中は、クール ポケットのふたを必ず 閉めておいてください。 万一の場合、クール ポケットのふたおよ び内部の缶が思わぬ危険物となります。

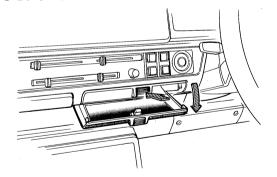
小物入れ

●車検証ポケット



車検証、取扱説明書、整備手帳等の書類をビニール袋 にまとめて入れてください。

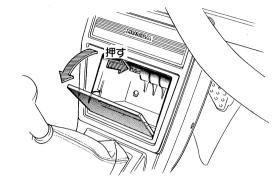
- ●鉛筆等の小物は入れないようにしてください。
- ●センタ ポケット



サイフ、免許証等を入れておくのに便利です。

●車を離れるときは貴重品を持って降りてください。

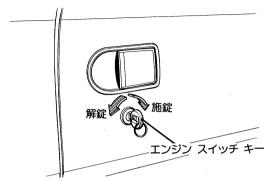
●センタ コンソール



カセット テープを入れておくのに便利です。

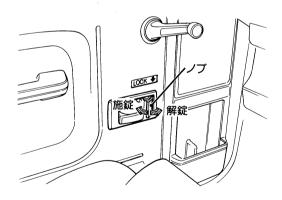
ドアの施錠、解錠

●車外から行う場合

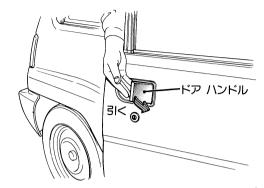


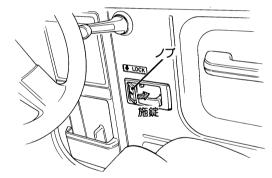
エンジン スイッチ キーを確実に差し込んで回します。

●車内から行う場合



●車外からキーを使用しないで行う場合





〈運転席のドア〉

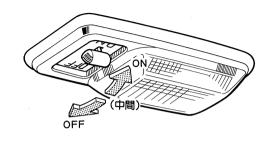
ドア ハンドルを引いたまま車内のノブを矢印の方向 に動かして、ドアを閉めれば施錠できます。

〈助手席のドア〉

ノブを矢印の方向に動かして閉めるだけで施錠できます。

● キーを車内に置き忘れないようにしてください。

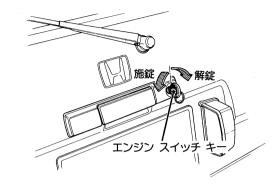
室内灯



*ON"……ドアの開閉に関係なく点灯します。中間……ドアを開いたときのみ点灯します。
*OFF"……ドアの開閉に関係なく消灯します。

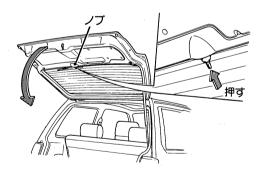
後部ドア(テールゲート)

●施錠、解錠



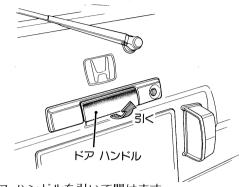
エンジン スイッチ キーを確実に差し込んで回します。

●キーを使用しないで行う施錠



後部ドアを閉めるときノブを矢印の方向に押して閉めるだけで施錠できます。

●開閉



ドア ハンドルを引いて開けます。



静かに下げ、上から手で押さえつけるように閉めま す。

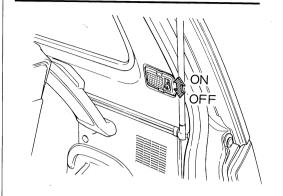
> ●走行中は後部ドアを必ず施錠してくだ さい。



車内に排気ガスが侵入するのを防ぐためです。

●エンジンをかけた状態で手荷物を出し 入れするときは、排気管の後方に立た ないでください。

後部ドア(テールゲート)照明灯



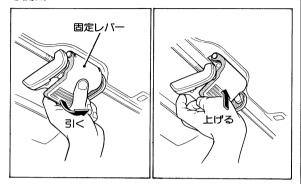
"ON"……後部ドアを開いたときのみ点灯します。

"OFF"……後部ドアの開閉に関係なく消灯します。

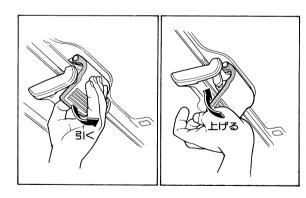
サン ルーフ

(新車注文時に注文いただく装備です。)

●開閉

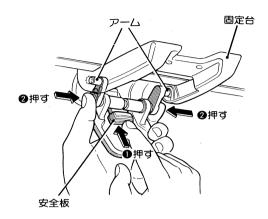


固定レバーを手前に引いてから、サンルーフ後端を 持ち上げるようにして固定レバーを押し上げて固定 します。



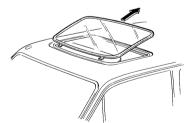
閉めるときは、固定レバーを手前に引いてサンルー フを下げてから、手のひらで固定レバーをいっぱい に押し上げて固定します。

●取り外し



固定レバーを手前に引いた状態で、安全板を押し込 みながら、左右のアームを押しはさみ、固定台より 固定レバーを取り外します。

サンルーフ後端部を持ち上げ、車外より斜め後方に 引いて取り外します。

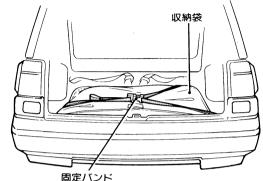


サンルーフを取り外すと、室内への風の巻き込みを 防ぐ整流板(ディフレクタ)が自動的に上がります。



走行中はサンルーフの取り外し操作を絶 対に行わないでください。 誤って脱落させると歩行者や後続車に危 害を与える恐れがあります。

●格納



取り外したサンルーフは必ず収納袋に入れて固定バ ンドで確実に固定してください。

サンシェードといっしょに格納する場合は、サンル 一フにサンシェードを取付けた状態で、格納してく ださい。

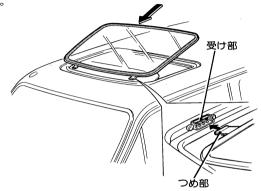
サンルーフの室内側(固定レバー側)が下になるよ うに格納してください。



- ●サンルーフ格納時は袋の上に荷物をの せないでください。
- ●サンルーフは動かないように必ず固定 バンドで確実に固定してください。

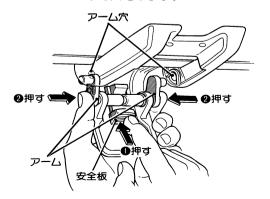
●取り付け

ラシオを装着した場合はアンテナを損傷させないよう、アンテナは完全に収納した状態で行ってくたさい。



サンルーフ前側2箇所のつめ部を、車体の受け部に斜め後方より確実に差し込みます。

室内より安全板を押し込みながら、左右のアームを押しはさみ、固定台のアーム穴にアームを挿入します。アームがアーム穴に両側とも確実に挿入されていることを確認します。手のひらで固定レバーをいっぱいに押し上げて固定します。



● 車内よりサンルーフを押し上げ、確実に固定されていることを確認してください。



走行中はサンルーフの脱着操作を絶対に しないでください。

- ●降雨後または洗車後はルーフ上の水を除去してから取り外してください。室内に水が入る恐れがあります。
- サンルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。
- 車を離れるとき、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。

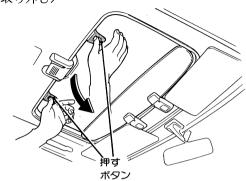


走行中または一時停止時にルーフ開口部 から頭や手、物などを出さないでくださ い。

特にお子さまには気をつけてください。

●遮光板(サンシェード)

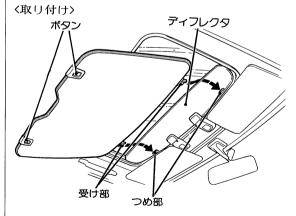
〈取り外し〉



左右のボタンを押しながら遮光板の後端を下げ後方 に引きます。

〈格納〉

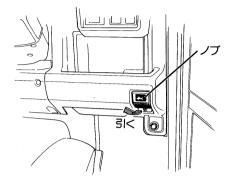
サンシェードは収納袋に入れて固定バンドで確実に 固定してください。



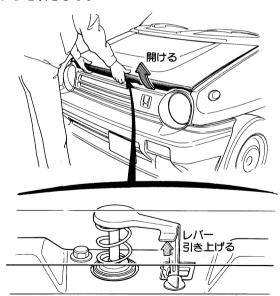
左右の受け部をサンルーフ前端のつめ部に合わせます。次に後端部のボタンを押しながら持ち上げ固定 します。

ボンネット

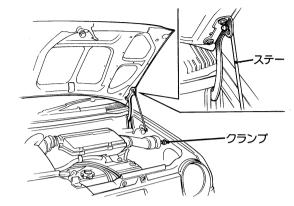
●開けかた



ノブを引きます。



ボンネット前部が少し浮き上がるので、手をかけて レバーを引き上げながら開けます。



必ず保持棒(ステー)をかけ、固定します。

●閉めかた

保持棒(ステー)を外しクランプに差し込みます。 ボンネットを静かに下げ、手を離します。 ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。

注意

ボンネットを開けているとき風にあおられて保持棒(ステー)が外れることがあります。

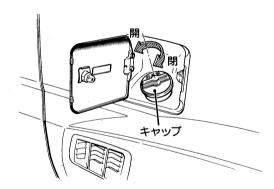
特に風の強い日はご注意ください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

●開けるとき





●使用燃料は無鉛ガソリンです。



燃料補給時は火気厳禁です。 エンジンは必ず止めてください。

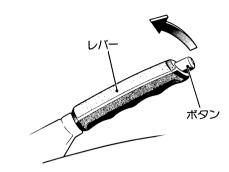
●閉めるとき

キャップを閉めてから、補給口のふたを手で押さえつければ施錠されます。

エンジンのかけかた と運転のしかた

駐車ブレーキ	30
エンジンのかけかた	30
変速レバーの操作	31

駐車ブレーキ



レバーをいっぱいに引けば後輪ブレーキがききます。 戻すときはレバーを軽く引き上げながら、レバー先 端のボタンを押し込み、そのまま下に完全におろし ます。

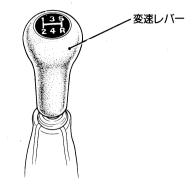
●駐車するとき、必ず駐車ブレーキをかけてください。冬期の取り扱い ●65ページ



レバーを引くときはボタンを押さずに操作してください。

エンジンのかけかた

●エンジンをかける前に



駐車ブレーキをかけ、変速レバーを中立にしてください。

●かけかた

エンジンが冷えているとき

- 1.アクセル ペダルを踏まずにエンジンが始動するま でスタータを回してください。
- 2.エンジン始動後は、電子制御燃料噴射装置の働き によりエンジン回転が高くなります。エンジンが 暖機されるに従って、自動的に回転が下がります。

エンジンが暖まっているとき

1.アクセル ペダルを半分程度踏み込んだまま、スター タを回してください。

そのときアクセル ペダルを何度もパタパタさせな いてください。

2.エンジンが始動したらエンジンの回転上昇に合わせて、アクセルペダルを徐々に戻してください。

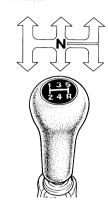
- ライト スイッチ、ファン スイッチ、後面ガラス 曇り取りスイッチは OFF にした方が始動は容易に なります。
- ●バッテリ上がりを防ぐため、スタータは連続15秒 以上回さないでください。また一度回した後は、10秒以上待ってバッテリを 回復させてください。
- ●寒い日または数日間以上運転しなかったときは、 必ず暖機が完了してから走行してください。
- 寒冷時の始動直後は、エンジンの急激な空ぶかし または急加速をしないでください。
 - 換気の悪い車庫や屋内ではエンジンを かけたままにしないでください。ガス中毒をおこす危険があります。



●排気音が変わったり、車内でガソリン や排気ガスのにおいが消えない場合は、 必ず点検を受けてください。

変速レバーの操作

●変速レバー



変速するときはクラッチ ペダルをいっぱいに踏み込んで変速レバーを確実に操作します。

- ●⑤から®(後退)へは直接、変速できません。一度 ®(中立)へ戻してから変速してください。
- ●変速機を傷めないために®には車が完全に停止してから変速してください。

●速度範囲

各変速位置での速度範囲は下の表を標準としてくた さい。

変速位置	1,000km走行後の速度範囲
1 速	0 ~45km/h
2 速	15~75km/h
3 速	30~ 110km/h
4 速	40km/h~
5 速	※4 5km/h∼

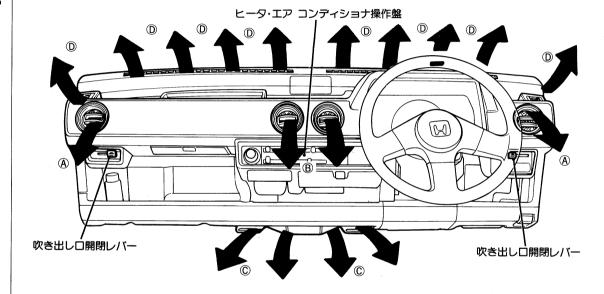
※; 平坦地を40km/h程度で走行することは可能です。

- ■エンジンを過回転させないため上限速度を守って 走行してください。
- ●1,000km 走行するまでは急発進、急加速を避け、 表の上限速度よりも控え目な運転をしてください。

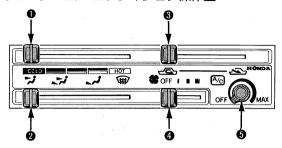
ヒータ·エア コンディ ショナの使いかた

各部の操作のしかた	32
ヒータ・エア コンディショナの使いかた	33

各部の操作のしかた



●ヒータ・エア コンディショナ操作盤

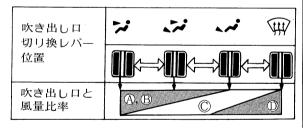


◆ヒータ温度調節レバー

レバーを動かして©と®からの吹き出し風の温度を 調節します。

❷吹き出し□切り換えレバー

レバーを左右に動かし、吹き出し口を調節します。



❸内外気切り換えレバー

"~~"で内気循環になり、"~~"で外気導入になります。

- 通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため、外気導入で使用してください。
- ●トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

4ファン スイッチ

レバーで、OFF から I 、II 、III (弱、中、強)と 3段階に風量調節ができます。

⑤エア コンディショナ スイッチ

エア コンディショナ装着車

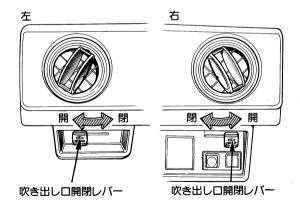
エンジンが作動しているときに、ファン スイッチを 入れ、エア コンディショナ スイッチを右へ回すと スイッチが入ります。

スイッチを右へ回すにつれて冷風の温度は低くなります。使用しないときはスイッチを左へいっぱいに回して*OFF"にします。

冷房や除湿暖房するときに使います。

●吹き出し口開閉レバー

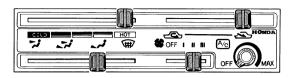
レバーを外側へ動かすと、走行中に外気が吹き出します。

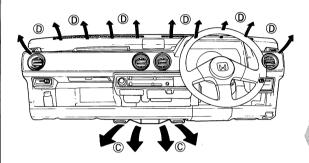


◆冷房または暖房するときは吹き出し口開閉レバー を閉にしてください。

ヒータ・エア コンディショナの使いかた

●暖房





各レバーを図の位置にします。

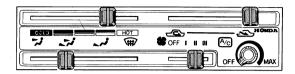
エア コンディショナ装着車はエア コンディショナスイッチを OFF にします。

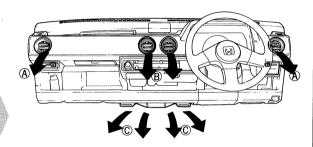
ファン スイッチを入れれば温風が©から吹き出します。®からも少し吹き出します。

急速に車内を暖めたい場合は内外気切り換えレバーを "全会" にし、温度調節レバーを右いっぱいにしてファン スイッチを "III"(強)にします。

●急速暖房で車内が暖まったら、前面ガラスの曇りを防ぐため内外気切り換えレバーを "◆◆ン"(外気導入)にしてください。

●頭寒足熱暖房



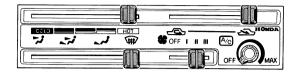


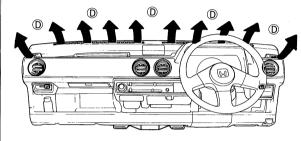
各レバーを図の位置にし、ファン スイッチを入れれば©から温風が、②・®からは外気がそのまま吹き出します。

上下風量の比率は吹き出し口切り換えレバーを動か すことにより調節できます。

右にレバーを動かすと足元の風量が多くなります。

●前面/側面ガラス霜取り、曇り取り(デフロスタ)





各レバーを図の位置にし、ファン スイッチを入れれば

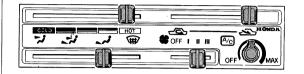
ばのから温風が吹き出します。

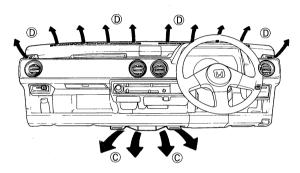
夏期の曇り止めには温度調節レバーを適度に調節します。

エア コンディショナ装着車は、梅雨時など湿度の高いときにエア コンディショナ スイッチを入れると ①から除湿された温風が吹き出し前面/側面ガラスの曇り止めに効果があります。

注意

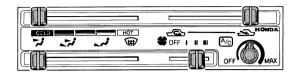
エア コンディショナ スイッチを入れて いるときには、温度調節レバーを左端(最大冷房) 付近にしないでください。 冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあります。 ●除湿暖房、曇り止め エア コンディショナ装着車

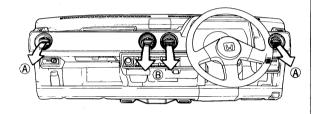




各レバーを図の位置にし、エア コンディショナ スイッチ、ファン スイッチを入れれば除湿された温風が©から吹き出します。 ②からも少し吹き出します。春、秋などの雨天で曇りやすい時に使用します。外気が除湿され、乾燥した空気で暖めますので、曇り止めに役立ちます。

●冷房 エア コンディショナ装着車





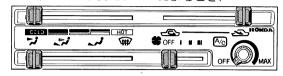
各レバーを図の位置にし、エア コンディショナ スイッチ、ファン スイッチを入れれば外気を冷やして ②・③から冷風が吹き出します。

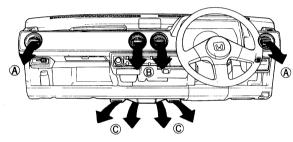
急速に車内を冷やしたい場合は、ファン スイッチを ™ (強)に、内外気切り換えレバーを (内気循環)に、温度調節レバーを左端(最大冷房)にします。

- ●急速冷房で車内が冷えたら内外気切り換えレバーを" (外気導入)にしてください。内気循環のまま長時間使用すると車内の空気が汚れます。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を 追い出しながら、冷房を開始してください。
- ●長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷 やしすぎは健康上良くありません。

●換気

〈吹き出し口切り換えレバーによるとき〉



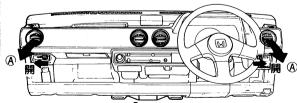


走行中は各レバーを図の位置にすれば〇・〇から外気が吹き出します。

吹き出し口切り換えレバーを *** の位置にすれば 心からも吹き出します。

低速、停車時にはファン スイッチを入れれば強制的 に換気できます。

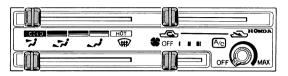
〈吹き出し口開閉レバーによるとき〉



走行中は吹き出し口切り換えレバーの位置に関係なくレバーを開の位置に動かせば外気が@から吹き出し、閉ではしゃ断されます。

中央位置で止めて風量を調節できます。

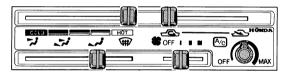
●使用しないとき



各レバーを図の位置にします。

●エア コンディショナを常用しない場合の手入れ

装置各部のオイルをきらさないために、各レバーを 図の位置にし、週に一度は数分間エンジンを低速回 転させた状態でエア コンディショナ スイッチを入 れてくたさい。



室内の温度が低い場合は、作動しないことがあります。このような場合は室内を暖めてから、エア コンディショナ スイッチを入れてください。

いざというときには

故障した場合	36
非常発炎筒	36
故障の修理は	37
けん引について	37
タイヤ チェン	38
簡単な応急処置	39
電球(バルブ)の交換	39

故障した場合

車を路肩に停め、非常点滅灯を点滅させます。必要 に応して停止表示板、非常発炎筒も使用し、後続す る車に故障車とわかるようにします。

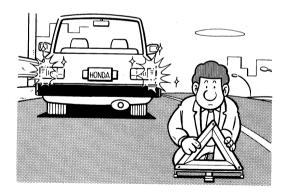
●踏切でエンストしたとき

- 1. 付近に人がいる場合は押してもらってください。
- 2. 急を要する場合はギアを2速に入れてクラッチ ペダルを踏まずにスタータを回し、抜け出して ください。

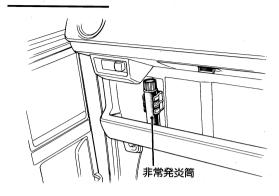
この方法で動かない場合はただちにグローブ ボックス下に備え付けられている非常発炎筒で合図をしてください。

●高速道路で

車を路側帯に寄せ、非常点滅灯を点滅させ、停止表 示板を置いて表示してください。



非常発炎筒



高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに 使用します。

- ●このような場合は非常点滅灯も使用してください。
- ●使用方法は、発炎筒に記載されています。 あらかじめよく読んでおいてください。



- 発炎筒を使用するとき顔やからだに向 けると火傷の危険があるので避けてく ださい。
- あ子さまにいじらせないでください。
- ●ガソリンなどの可燃物のそばで使用す ると火災を招く危険があるので避けて ください。
- ●トンネル内で使用すると視界を悪くす るので危険です。
 - トンネル内では非常点滅灯を使用して ください。
- ●発炎筒は有効期限がありますので事前 に確認しておいてください。

故障の修理は

ホンダ販売店へお申しつけください。

お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修 理致します。長くかかるものは、予定をお知らせし ます。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡くだ さい。

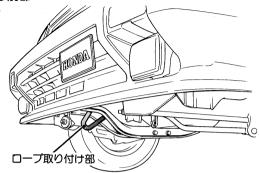
遠出などのときは全国どこでもホンダ販売店へご連 絡ください。

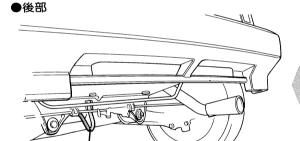
所在地、電話番号については別冊"整備手帳"をご 覧ください。



けん引について

●前部





けん引したり、けん引されたりするときにはローブ 取り付け部を利用します。

●他の部分へロープなどをかけないでください。

ロープ取り付け部

- ●ロープ取り付け部はけん引にのみご使用ください。
- ●けん引時はロープ取り付け部に大きな衝撃が加わ るような運転をしないでください。



けん引されるときはエンジン スイッチを "ACC"の位置にしてください。 "LOCK" 位置でエンジン キーが抜ける とハンドルが固定され、危険です。



タイヤ チェン

雪道、凍結路を走るときはタイヤ チェンまたはスノ ー タイヤを装着します。

●但し、地方条例により、違いがありますのでその 地区の公安委員会が指定する条例に従ってくださ い。

●標準的なタイヤ チェンの取り付けかた

前輪駆動車ですので、チェンは前輪に取り付けてく ださい。

●応急用スペア タイヤには標準タイヤ用のタイヤチェンは装着できません。

前輪がパンクした場合は、応急用スペア タイヤを 後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤ チェンを装着し てください。

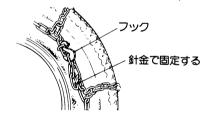
- 1. 前輪を直進状態にする。
- 2. クロス チェンの折り曲げ部が下側になるように してチェンを前輪のすぐ前に敷きます。



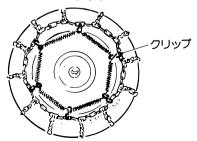
3. 先端のフックから約30cmの位置まで前輪を移動 させます。



- 4. チェンをタイヤにまきつけていっぱいに引いて 内側のフックを先に連結し、次に外側のフック を連結します。
- 5. 連結してチェンが余った場合ボディなどに当たるのを防止するために針金で固定します。



6. チェン バンドのクリップを外向きにしてチェン をいっぱいに張ります。



7. 試走してチェンの取り付け状態を確認します。

●指定チェン サイズ

タイヤ サイズ	指定チェン サイズ
185/60R13 80H	ホンダ純正 45181

お求めはホンダ販売店にお申しつけください。

- タイヤ チェンは平らな所で他の交通に 十分注意して取り付けてください。 必要に応じて非常点滅灯などを使用して ください。
- チェンはタイヤに合った適正なサイズ のものをご使用ください。サイズの合 わないチェンを使用すると、ブレーキ 配管やフェンダを破損し、危険です。



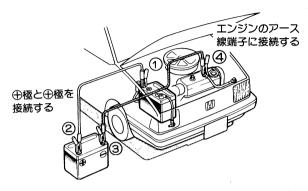
●タイヤ チェンを取り付けたときはつぎの速度以下で運転してください。

雪道、凍結路……30km/h以下 なお乾燥路面ではタイヤ チェンを装着 したままで走行するのは避けてください。

■スノー タイヤを装着したとき、高速走 行は避けてください。

簡単な応急処置

●バッテリ上がりの場合



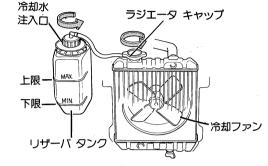
他のバッテリを利用してエンジンをかける場合は図の番号順にコードを接続し、エンジン始動後は逆の順序でコードを取り外してください。

◆ 放電したバッテリに他のバッテリを接続してエンジン始動する場合は⊕、⊖極を間違えないように注意してください。



- ●バッテリの充電をするときはすべての キャップを外してください。
- ●密閉された場所では換気に十分注意してください。

●オーバー ヒートした場合



- 1. 車を安全な場所に停め、エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。 このとき、冷却ファンが作動していることを確認してください。
- ●万一、ファンが作動していない場合は、エンジンを止めてください。
- **2.** 水温針の針が下がってきたら、エンジンを止めます。
- 3. エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなど からの水漏れ、発電機ベルトのゆるみ、切損を 点検します。

冷却装置の点検 ● 45ページ

発電機(ファン)ベルトの点検 ● 45ページ

4. 冷却水量が不足していたら補給します。

補給方法は

冷却水の補給 ● 61ページ



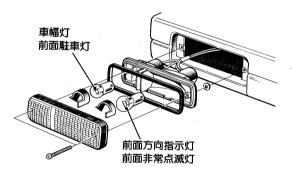
水温が高いときラジエータ キャップを外 さないでください。 冷却水には圧力がかかっていますので蒸

冷却水には圧力がかかっていますので素 気や熱湯がふき出し危険です。

電球(バルブ)の交換

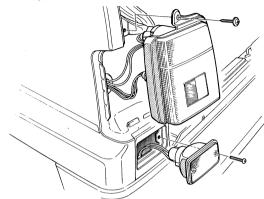
電球切れが確認された場合には、次の要領で交換します。

- ●レンズを取付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損する恐れがあります。
- ●前照灯は調整を必要としますので、お近くのホン ダ販売店へお申しつけください。
- ●前面方向指示灯/前面非常点滅灯 車幅灯/前面駐車灯

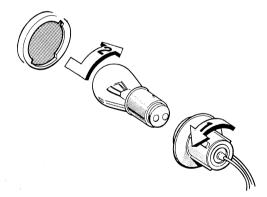


ビスをゆるめてレンズを外し、電球を押しながら左 へ回します。

●後面方向指示灯/後面非常点滅灯 制動灯/尾灯・後面駐車灯 後退灯

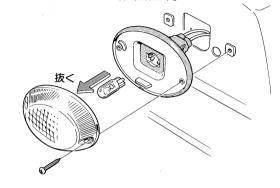


ネジをゆるめて、レンズ本体を外します。



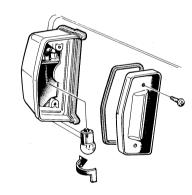
ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回し抜き取ります。

●側面方向指示灯/側面非常点滅灯



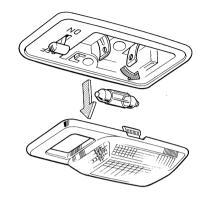
ネジをゆるめレンズを外し、電球を抜き取ります。

●番号灯



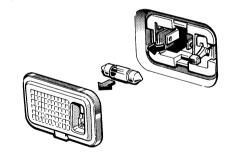
ネジをゆるめレンズを外し、電球を押しながら左へ 回し抜き取ります。

●室内灯



レンズを外し、電球を外します。

● 後部ドア 照明灯



レンズを外し、電球を外します。

運行前点検

運行前点検は、自動車を使用する人が、1日1回、 運転する前に実施するよう法令により義務づけられ ています。

この点検は運転席にすわったリ、エンジン ルームをのぞいたり、また自動車の周りを回りながら自動車の状態をみることによって容易に出来るものです。 運行前点検を確実に行うためには一定の順序で行うことが効果的です。

ここに点検順序を示します。

●異常が認められた場合は必ず整備を行ってください。



注意

エンジン ルーム内の点検はエンジンの高 熱部や自動的に回転しだす冷却ファンに 十分注意してください。

●前日の異状箇所の点検

①運転席にすわって

■ 後写鏡の点検 **②** 42ページ

■ ブレーキの点検 **●** 43ページ

②エンジンルームをのぞいて

■ブレーキ液量の点検 ●44ページ

※エンジン オイル量の点検 ◆45ページ

※ファン ベルトの点検 ◆45ページ

③車の周りを回りながら

■反射器、ナンバ プレートの点検 ● 46ページ

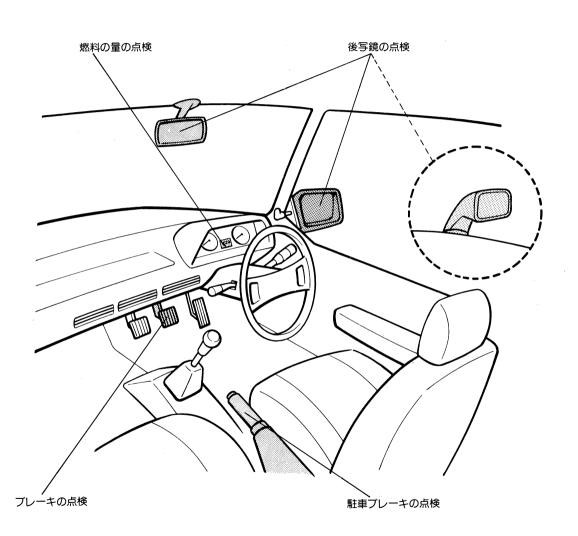
■タイヤの点検(※溝の深さの点検のみ) ●47ページ

※印の点検項目は、80km/h以上で走行できる高速道路などを走行する予定がない場合には、行わなくてもよい項目です。

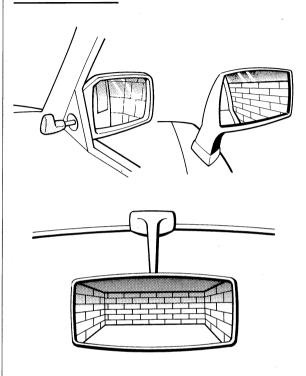
前日の異状箇所の点検

運行に支障がないかを点検します。

①運転席にすわって

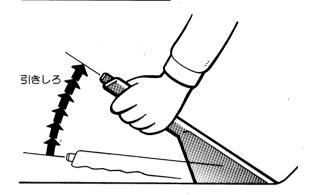


後写鏡の点検



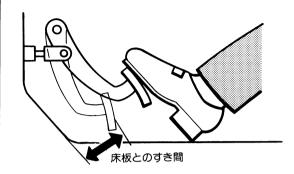
運転席に正しくすわって、後方や側方の状況が十分 に確認できる位置に、後写鏡が調整されているかを 点検します。

駐車ブレーキの点検



レバーをいっぱいに戻した状態からゆっくり引き上げて(操作力20kg)、4~8回の引っかかり音でレバーがロックするかを点検します。

ブレーキの点検



エンジンを始動し、 $2 \sim 3$ 回ペダルを踏み込んだのち、ペダルを力強く(踏力20kg) 5 秒以上踏み続けて床板とのすき間を点検します。

床板とのすき間は80mm以上が適正です。

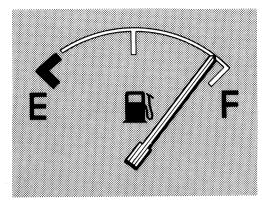
●踏み込んだとき、ふわふわする感じがある場合、または踏み続けたとき、ペダルがさらにはいり込む場合は、空気の混入や液漏れが考えられます。このようなときには、ブレーキのきき不良や片ぎきの恐れがあります。

ただちに整備を受けてください。



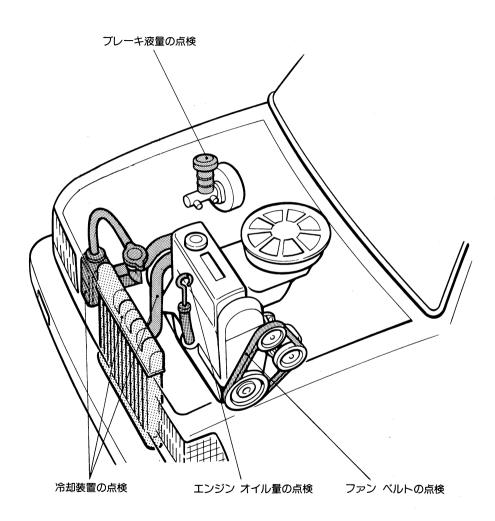
ブレーキが片ぎきですと、ブレーキをかけたときにハンドルをとられて危険です。

燃料の量の点検 ※

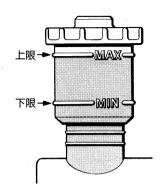


エンジン スイッチを *ON"にして、燃料計により燃料の量が目的地まで走行するのに十分であるかを点検します。

②エンジン ルームをのぞいて



ブレーキ液量の点検

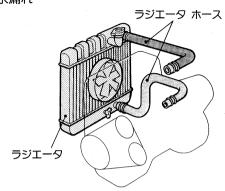


リザーバ タンクの液量が上限(MAX)と下限(MIN)の間にあるかを点検します。

- ●液面が下限より下がっていたらすぐ補給してください。プレーキ液の補給 ●58ページ
- ●万一、液の減りかたが著しいときは、ブレーキ系 統の液漏れが考えられます。 ただちに整備を受けてください。

冷却装置の点検 ※

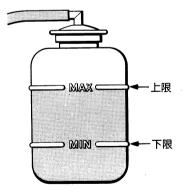
●水漏れ



ラジエータ、ラジエータ ホースなどから水漏れがないかを点検します。

このとき、車を停めておいた地面に水が漏れたあとがないかも調べます。

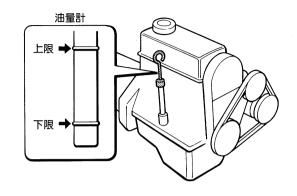
●冷却水の量



リザーバ タンク内の冷却水の量が上限(MAX)と下限(MIN)の間にあるかを点検します。

・液面が下限より下がっていたらすぐ補給してください。冷却水の補給 ●61ページ

エンジン オイル量の点検 ※



エンジン オイルの量が、油量計(オイル レベル ゲージ) の目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。

点検は、油量計を抜き取り、付着しているオイルを ふいて、再びいっぱいに差し込み、もう一度抜いて オイルの量をみます。

下限に近くなったら上限まで補給してください。

エンジン オイルの補給 ●61ページ

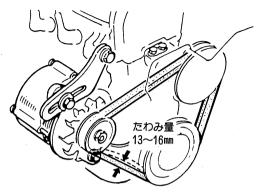
● 点検するときは、車を水平な場所に置いて行って ください。

傾いていると正確な量を示さないことがあります。

●オイル量はエンジン始動前かエンジンを止めてから少なくとも3分以上たってから点検してください。

ファン ベルトの点検 ※

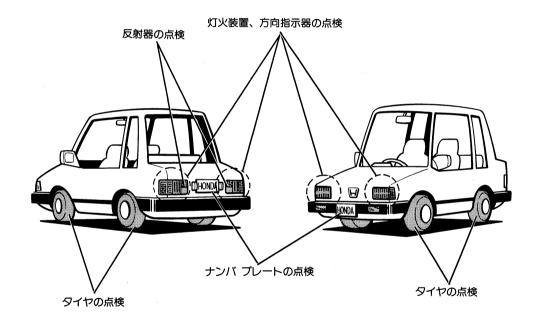
(発電機ベルトを点検してください。)



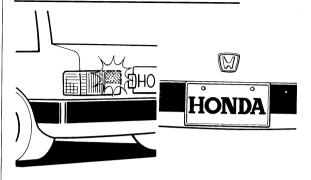
ベルトのゆるみ及び損傷を点検します。

ベルトの張りが適正でないと、充電不足やオーバーヒート、ベルトの異常摩耗、異音、寿命の低下などが起こります。張りはベルト中央部を親指で強く押したとき(10kgの荷重)のたわみが13~16mm が適正です。

③車のまわりを回りながら



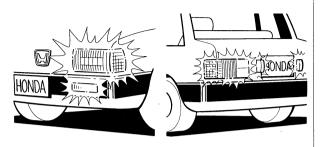
反射器、ナンバ プレートの点検



反射器、ナンバ プレートに著しい汚れや損傷がない かを点検します。

また、ナンバ ブレートが確実に取り付けられている かも手でさわって調べます。

灯火装置、方向指示器の点検



前照灯、車幅灯、尾灯、番号灯、後退灯、方向指示器などを作動させて、点灯または点滅するかを点検します。このとき、レンズに汚れや損傷がないかも調べます。

ブレーキ ペダルを軽く繰り返し踏み、制動灯が点滅するかを点検します。点検は壁や鏡を利用するか、他の人に見てもらうなどして確認します。

タイヤの点検

●空気圧

走行前、タイヤが冷えているときに空気圧を点検します。

(空車時:単位kg/cm2)

	空気圧	前	軸	後	輪
タイヤ サイズ		一般	高速	一般	高速
185/60R13 80H		1	. 8	1	. 8
T105/80D13 (応急用スペア タイヤ)		4	. 2	4	. 2



過名

適正

不足

タイヤの接地部のたわみ状態を見て、空気圧が適当であるかを点検します。

高速道路を走行するときは、空気圧はやや高めにしてください。

●亀裂、損傷

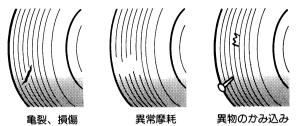
タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか を点検します。

●異常な摩耗

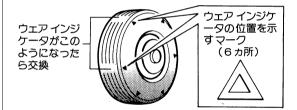
タイヤの接地面に、極端にすり減っている箇所がないかを点検します。

●異物のかみ込み

タイヤに釘や石などがささったり、かみ込んだりしていないかを点検します。



●タイヤの溝の深さ※



タイヤの溝の深さに不足がないかをウェア インジケータ(摩耗限度表示)により点検します。

ウェア インジケータが表われたらタイヤを交換して ください。 **タイヤ交換 ●**56ページ

ウェア インジケータはタイヤの円周に6か所あり、 他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。



タイヤの摩耗、損傷、石など異物のかみ 込みおよび指定外のタイヤ空気圧は、タ イヤの寿命や乗り心地、操縦性を損ない ます。

6 か月点検

自家用乗用車は法令によって、6か月、12か月、24か月の定期点検を行うことが義務づけられています。 ホンダ販売店で必ず点検を受けてください。

6か月点検については、乗用車の構造と装置についての基礎的な技術知識を有する方であれば、ご自身で行うことができます。

ご自身で6か月点検を行う場合は、次頁以下の点検 方法に基づき作業してください。

● 点検結果は所定の用紙に記録する必要があります。 点検結果の記録用紙(定期点検整備記録簿)は、別 冊 "整備手帳"に掲載されています。 記録は2年間保存してください。 点検するときは安全に十分注意してください。

- ●静止状態での点検は平担な場所で、車輪に輪止めをしてから行ってください。
- ●エンジン ルーム内の点検はエンジンの高熱部や自動的に回転しだす冷却ファンに十分注意してください。
- ●換気の悪い車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしないでください。
- ●走行して点検するときは周囲の交通事情に十分注 意して行ってください。
- ●ジャッキ アップして点検するときは適切なジャッキを使用してください。(お車に備え付けのジャッキは、タイヤ交換時のみ使用するものです。)

●点検項目

■ブレーキ ペダルの遊び、踏み込ん だときの床板とのすき間	○ 49ページ
■ブレーキのきき具合	▶49ページ
■駐車ブレーキ レバーの引きしろ	▶49ページ
■ブレーキ ホース、パイプの漏れ、損傷、取り付け状態	○ 50ページ
■リザーバ タンクの液量	○ 50ページ
■タイヤの空気圧	●50ページ
■タイヤの亀裂、損傷	●51ページ
■タイヤの溝の深さ、異常な摩耗	●51ページ
■タイヤの金属片、石その他の異物	●51ページ
■クラッチ ペダルの遊び、切れたと きの床板とのすき間	●52ページ
■バッテリの液量	●52ページ
■エンジン オイルの汚れ、量	○ 52ページ
■冷却水の量	●53ページ
■ファン ベルトのゆるみ、損傷	●53ページ
■灯火装置、方向指示器の作用	○ 53ページ

ブレーキ ペダルの遊び、踏み込んだときの床板とのすき間

●遊び



エンジンを停止させた状態で、 $2 \sim 3$ 回ペダルを踏み込んだのちに、ブレーキペダルを指で押し、抵抗を感じるまでの移動量(遊び)を定規などで点検します。

遊びは1~5mmが適正です。

●床板とのすき間



エンジンを始動し、 $2 \sim 3$ 回ペダルを踏み込んだのち、ペダルを力強く(踏力20kg)5 秒以上踏み続けて床板とのすき間を定規などで点検します。

床板とのすき間は80mm以上が適正です。

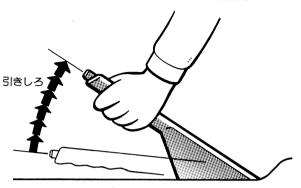
●踏み込んだときふわふわする感じがある場合、または踏み続けたとき、ペダルがさらにはいり込む場合は、空気の混入や液漏れが考えられます。 整備を受けてください。

ブレーキのきき具合



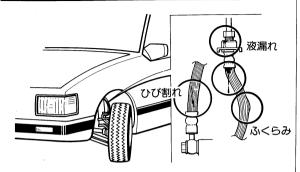
乾燥した路面で低速走行して、ブレーキ テストを行いきき具合が十分か、片ぎきがないかを点検します。

駐車ブレーキ レバーの引きしろ



レバーをいっぱいに戻した状態からゆっくり引き上げて(操作力20kg)、4~8回の引っかかり音でレバーがロックするかを点検します。

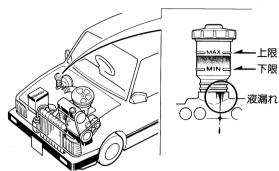
ブレーキ ホース、パイプの漏れ、損傷取り付け状態



ハンドルを左にいっぱいに切った状態で、左側フロント ブレーキのブレーキ ホースに傷、ひび割れ、ふくらみなどがないかを目視、または手でさわって 点検します。また、ホースが車体などと接触していないかやホースの接続部から液漏れがないかも点検します。

次に、ハンドルを右にいっぱいに切り、右側のフロント ブレーキについても左側同様に点検します。

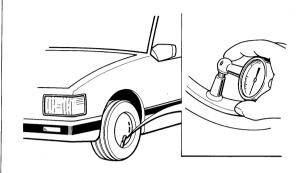
リザーバ タンクの液量



リザーバ タンクの液量が上限(MAX)と下限(MIN) の間にあるか、タンク周辺から液漏れがないかを目 視や手でさわって点検します。

- ●液面が下限より下がっていたらすぐ補給してください。ブレーキ液の補給 ●58ページ
- ●万一、液の減りかたが著しいときは、ブレーキ系 統の液漏れが考えられます。 整備を受けてください。

タイヤの空気圧



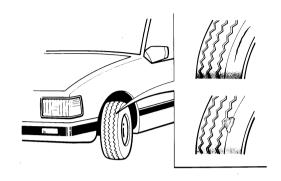
走行前、タイヤが冷えているときにタイヤ ゲージで 空気圧を点検します。

(空車時:単位kg/cm2)

	空気圧	前	輪	後	輪
タイヤ サイズ		一般	高速	一般	高速
185/60R13 80H	1.8		1.8		
T105/80D13 (応急用スペア タイヤ)		4.	. 2	4.	. 2

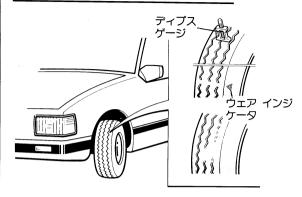
● スペア タイヤの空気圧は 0.2kg/cm²くらい高めに しておき、使用するとき調整してください。

タイヤの亀裂、損傷



タイヤの接地面の全周と両側面に亀裂や損傷がない かを目視により点検します。

タイヤの溝の深さと異常な摩耗

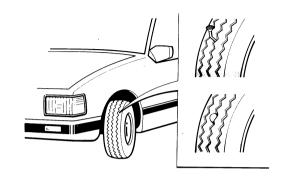


タイヤの接地面に表示されているウエア インディケータ(摩耗限度表示)またはディブス ゲージ(またはノギス)により溝の深さが1.6mm以上あるかを点検します。

タイヤの全周に片減りや局部摩耗、段付摩耗がない かを目視により点検します。

●ウェア インジケータは、タイヤの円周に 6 か所あ リ、他の部分より溝が1.6mm だけ浅くなっていま す。

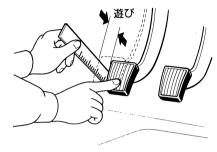
タイヤの金属片、石その他の異物



タイヤの接地面と両側面に釘や異物がささったり、 溝に石などがかみ込んだりしていないかを目視や手 でさわって点検します。

クラッチ ペダルの遊び、切れたとき の床板とのすき間

●遊び



ペダルを手で抵抗を感じるまで押したときの移動量 (遊び)を定規で点検します。

遊びは15~20mmが適正です。

●切れたときの床板とのすき間



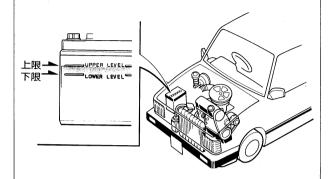
駐車ブレーキをいっぱいに引き、エンジンを始動します。

アイドリング状態でペダルをいっぱいに踏み込み、ギヤを1速に入れたのちペダルを徐々に離し、クラッチがつながる直前の状態(エンジン音が変化したリ振動が発生したリします)でペダルと床板とのすき間を点検します。

切れたときの床板とのすき間は35mm以上が適正です。

●車が急発進しないように十分注意してください。

バッテリの液量



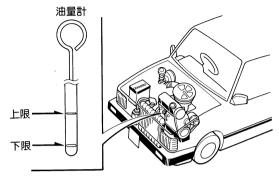
バッテリの液面が各槽とも上限と下限の間にあるか を目視により点検します。

バッテリ液の補給 ●59ページ

- ●バッテリを取り扱うときはショートによる火花や火気に注意してください。 バッテリからは可燃性のガスが発生しているので爆発の危険があります。
- 注意

●バッテリ液は希硫酸です。 目や皮ふにつくとその部分が侵されますので十分注意してください。 万一、付着したときは、すぐ多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、専門医の診断を受けてください。

エンジン オイルの汚れ、量

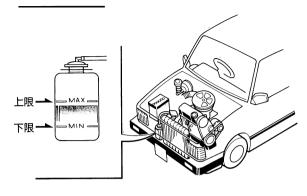


エンジンを停止させ、油量計(オイル レベル ゲージ)により、油量が目盛りの上限と下限の間にあるかを目視により点検します。

また、油量計に付着したオイルを手でさわるか、または布などに付着させ、オイルの汚れ具合も点検します。 エンジン オイルの補給 ●61ページ

● 点検は平らな場所でエンジンを始動する前か、またはエンジンを止めてから少なくとも3分以上たってから点検してください。

冷却水の量

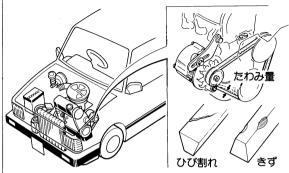


ラジエータ リザーバ タンク内の冷却水量が上限(M AX)と下限(MIN)の間にあるかを目視により点検します。

冷却水の補給 ●61ページ

ファン ベルトのゆるみ、損傷

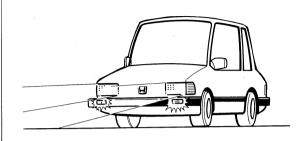
(発電機ベルトを点検してください。)



ベルトのゆるみ及び損傷を点検します。

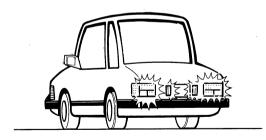
ベルトの張りが適正でないと、充電不足やオーバーヒート、ベルトの異常摩耗、異音、寿命の低下などが起こります。張りはベルト中央部を親指で強く押したとき(10kgの荷重)のたわみが13~16mmが適正です。

灯火装置、方向指示器の作用



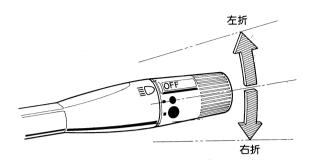
前照灯を点灯させ、明るさが不足していないか、照射方向が著しく狂っていないかを目視などにより点検します。

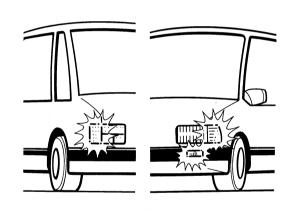
前照灯のレンズに破損、ひび割れがないかを目視により点検します。また、確実に取り付けられているか、 手でさわって点検します。



エンジン スイッチを *ON"にして、車幅灯、尾灯、制動灯、後退灯、番号灯などを作動させ、点灯、または点滅するかを目視により点検します。

各灯器のレンズに変色、破損、ひび割れがないかを 目視により点検します。また、確実に取り付けられ ているか、手でさわって点検します。





エンジン スイッチを*ON"にして、方向指示器を左右に作動させ、毎分60~120回の一定の周期で方向指示灯が点滅するかを点検します。

方向指示器のレンズに変色、破損、ひび割れがないかを目視により点検します。また、確実に取り付けられているか、手でさわって点検します。

簡単な整備と手入れ

工具とジャツキ55
タイヤ交換
ブレーキ液の補給58
バッテリ端子部の清掃59
バッテリ液の補給59
ヒューズの交換59
エア クリーナろ紙部(エレメント)の交換60
エンジン オイルの補給61
冷却水の補給61
冷却水の交換62
ウオツシャ液の補給62
ワイパ ブレード ラバーの交換63
エア コンディショナの手入れ63
塗装の手入れ64
冬期の整備と取り扱い65

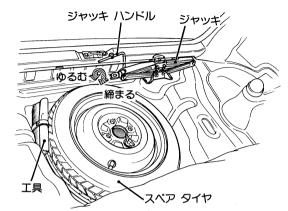
整備の際には次のことに注意してください。

- ●安全な場所を選んで行ってください。
- ●適切な工具を使用してください。
- ●エンジンは停止状態で行ってください。
- ●駐車ブレーキ レバーを十分に引き、車輪に輪止め をするなどして、車を動かないようにして行って ください。
- ●自動車をリフト アップする場合には、適切なジャッキを使用してください (お車に備え付けのジャッキは、タイヤ交換時にのみ使用するものです)。
- ●エンジン ルーム内の整備はエンジンの高熱部や 自動的に回転しだす冷却ファンに十分注意してく ださい。
- ●取り外した部品はエンジン ルーム内に置かない でください。

エンジン ルーム内に落としたり、万一の場合危険です。

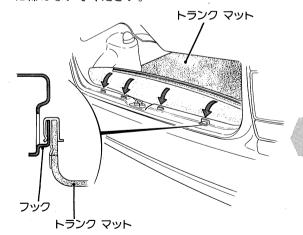
工具とジャッキ

●格納場所、ジャッキの脱着



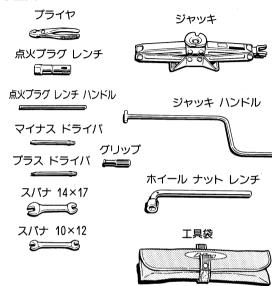
ジャッキをゆるめて外します。

●ジャッキを取り付けるときはドライバなどで無理 に締めないでください。



● トランク マットはボディのフックにとめてください。

●工具

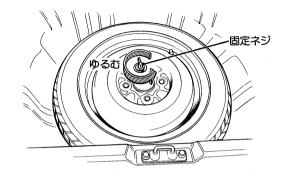




スペア タイヤ、工具類は所定の位置にしっかり固定しておいてください。

タイヤ交換

●スペア タイヤ (応急用スペア タイヤ)



固定ネジをゆるめて取り出します。

〈標準タイヤ〉

〈応急用スペア タイヤ〉



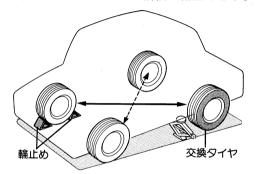


応急用スペア タイヤは、タイヤがパンクしたときの 応急用としてのみに使用するタイヤです。 応急用スペア タイヤは標準タイヤに比べて、空気圧 が高く、直径がやや小さくできています。ご使用の 際には次の注意事項をお守りください。

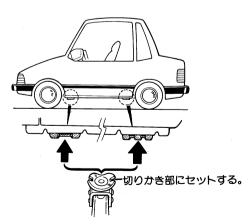
- ●空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いく ださい。(指定空気圧:4.2kg/cm²)
- ●応急用スペア タイヤを装着した場合は100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- ●応急用スペア タイヤは標準タイヤと比べて直径が 小さいため、車高が少し低くなります。突起物な ど乗り超えるときは、車の下にひっかけないよう に注意してください。
- この応急用スペア タイヤとホイールはあなたのお 車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合 わせたり、他の型式の車に使用しないでください。
- ●応急用スペア タイヤにはタイヤ チェンは装着できません。前輪がパンクした場合は、応急用スペア タイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤ チェンを装着してください。

●交換

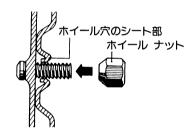
- 1. 車を安全な場所に停め、工具類、スペア タイヤ を取り出します。
- 2. 駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めをします。



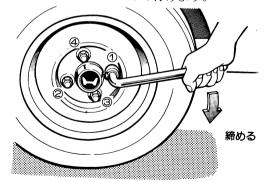
- 3. スペア タイヤは交換するタイヤ近くの車体の下 に置きます。
- 4. ジャッキは図の部分の交換するタイヤに近い位置にかけます。



- 5. ホイール ナットをホイール ナット レンチでゆるめます。(約1回転)
- 6. タイヤと地面が少しはなれるまで車体を上げま す。
- 7. ホイール ナットを外し、タイヤを交換します。
- 8. ホイール ナットがホイール穴のシート部に軽く 当たり、ホイールがガタつかない程度までホイ ール ナットを締めます。



9. ジャッキをおろし、図の順で2~3度にわたり、 ホイール ナットを締め付けます。



(参考)

ホイール ナット締付けトルク

 $7 \sim 9 \,\mathrm{kg} \cdot \mathrm{m}$

- ●レンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締めないでください。トルクがかかりすぎることがあります。
- スペア タイヤの空気圧は使用するときに調整して ください。

万一、未調整のまま走る場合は、速度を控え目に してください。

タイヤの空気圧はサービス データ ●68ページ

- ●バンク修理、タイヤの自然摩耗、リムの変形などでホイール バランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたら点検を受けてください。
- ●純正アルミ ホイールの装着について

アルミ ホイールは $5-J \times 13$ のサイズのものを装着してください。

● タイヤ交換は平らな所で他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅灯を使用してください。



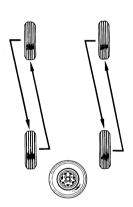
- ジャッキを使用するときは必ず指定された位置にかけ、乗っている人はおりてもらいまた荷物はおろしてください。
- ●車がジャッキだけで支えられていると きはエンジンをかけたり、車の下に入 ったりしないでください。
- サイズの異なるアルミホイールを装着 するとブレーキ系統に損傷を与え、危 険です。

●タイヤの位置交換(タイヤ ローテーション)

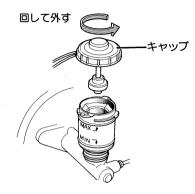
5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

●応急用スペア タイヤはタイヤの位置交換には使用 しないでください。タイヤがパンクしたときの応 急用としてのみに使用してください。



ブレーキ液の補給

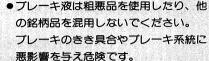


- 1. ブレーキ液が不足している場合は、リザーバ タンクのキャップを回して外し、上限 (MAX) までブレーキ液を補給します。
- 2. 補給後はキャップを確実に締め付けます。

指定液: ホンダ ブレーキ フルード DOT3

- ■ゴミや水などがリザーバタンク内に入らないように、付近のホースなどの汚れを取ってからキャップを開けてください。
- ●上限(MAX)を越えて補給しないでください。
- ●補給するときはこぼさないようにしてください。 車体にこぼしたときは、すぐにふき取ってくださ い。塗装面を傷める恐れがあります。
- ●補給はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン温度が高いときに排気系統へブレーキ液が付くと、発煙することがあります。
- ●ブレーキ液量の減り具合が著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。

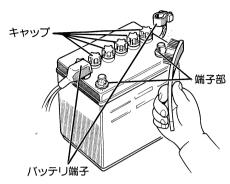
整備を受けてください。





補給の際はゴミや水がタンクの中に入らないようにしてください。
 小さなゴミでも混じるとブレーキがきかなくなる恐れがあります。

バッテリ端子部の清掃



- ●作業は必ずエンジンを停止させて行ってください。
- 1. 端子部に汚れや腐食があるときは清掃します。 端子に白い粉がついているときは、ぬるま湯で 清掃します。
- ●清掃のときは、バッテリ槽内に異物が入らないように、注液口のキャップは締めておいてください。
- 2. 端子部の腐食が著しい場合は、端子部を取り外して、ワイヤ ブラシ、サンド ペーパでみがきます。
- ●端子を取り外す場合は、マイナス側の端子から外 してください。

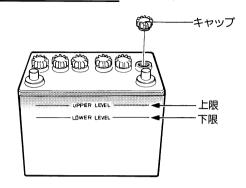
取り付ける場合は、プラス側の端子から取り付けてください。

- ●端子部にゆるみが生じないよう確実に締め付けてください。
- 3. 清掃、締め付け後は、端子部にグリースを塗布します。

注意

バッテリを取り扱うときはショートによる火花や火気に注意してください。 バッテリからは可燃性のガスが発生しているので爆発の危険があります。

バッテリ液の補給

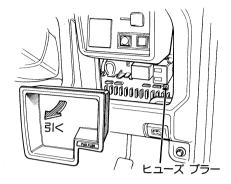


- 1. バッテリ液が不足している場合は、キャップを 回して外し、各槽とも上限までバッテリ補充液 (蒸留水)を補給します。
- 2. 補給後はキャップを確実に締め付けます。
 - ●バッテリを取り扱うときはショートによる火花や火気に注意してください。 バッテリからは可燃性のガスが発生しているので爆発の危険があります。



●バッテリ液は希硫酸です。 目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。 万一、付着したときは、すぐ多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、専門医の診察を受けてください。

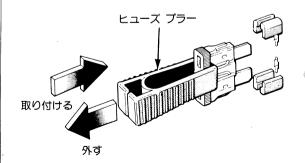
ヒューズの交換



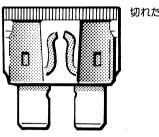
ライト類が点灯しないなどの場合はヒューズ切れが 考えられます。

ヒューズを点検してください。

ヒューズ ボックスは、運転席足元にあります。 エンジン スイッチを*LOCK"位置にし、故障の状況 から、点検すべきヒューズをヒューズ ボックスの表 示に従い確認し、ヒューズが切れていないかを点検 します。



備えつけのヒューズプラーでヒューズを外します。



切れた状態

ヒューズが切れた場合は、ヒューズ ボックスの表示 に従い規定容量のヒューズに交換します。

●交換してもすぐにヒューズが切れる場合は整備を 受けてください。



規定容量のヒューズ以外のものは絶対に 使用しないでください。

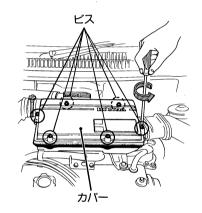
配線コードなどを焼損させる原因となり ます。

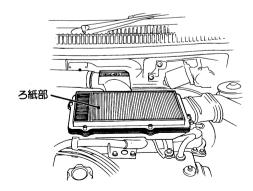
エア クリーナろ紙部(エレメント)の交換

推奨交換時期

2年ごと

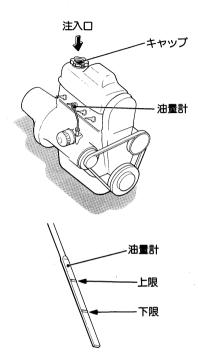
- ●ほこりの多い地区では早めに交換してください。 よごれたまま使用しますと燃費不良や加速不良な どの原因となります。
- ろ紙はオイルを含んだタイプ(ビスカス タイプ)の ため清掃は不要です。





- 1. プラス ドライバを使ってビス6 本をゆるめ、ガバ 一を取り外します。
- 2.ろ紙部を交換し、カバーをビス6本を締め付けて 取り付けます。
- ●取外したカバーやナットをエンジン ルーム内に置 いたままでエンジンをかけると、けがをしたり、 部品が破損する恐れがあります。

エンジン オイルの補給



キャップを回して取り外し、油量計で確かめながら 上限まで補給します。

補給後、キャップは確実に締め付けます。

補給がすんだらエンジンをかけ、1分間アイドリン グした後、エンジンを停止し、再度、油量計で確か めます。

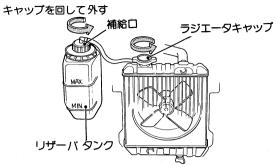
●指定オイル (20W-40)

ホンダ純正 HYPER オイル

粘度種類	${\tt SAE20W-40}$
規定量	3.0ℓ(交換時)

- ●外気温が-15℃以下になる地域では冬期のみホン ダ純正オイルウルトラ-U(4サイクル四輪車用) 10W-30をご使用ください。
- ●必ず指定オイルをご使用ください。
- ●作業は平担な場所で行ってください。
- ●銘柄やグレードの違うオイルを混用したり、低品 質オイルを使用しないでください。
- ●補給するときは、キャップ部からゴミなどが入ら ないようにしてください。
- ●オイルの量は上限を超えないようにしてください。
- ●オイルをこぼしたときは、完全にふき取ってくだ さい。

冷却水の補給



リザーバ タンクのキャップを外し、タンクの上限(M AX)まで補給します。

指定液の濃度を30%(寒冷地50%)にしてご使用くだ さい。

指定液:ホンダ純正ウルトラ ラジェータ液

液面は暖機時に上がり、冷機時に下がりますがエン ジン温度に関係なく上限(MAX)まで補給します。 リザーバ タンクに冷却水がないときはラジエータに も補給します。ラジエータ キャップを回して外し、 ラジエータの日元まで冷却水を補給します。

- ●上限(MAX)を越えて補給しないでください。
- ●ラジエータ原液を規定濃度に薄めるときは上水道 (軟水)を使用してください。
- ●指定以外のラジエータ液や不適当な水を使用する と、錆などの原因となります。
- 冷却水の減り具合が著しいときは、水漏れが考え られます。必ず整備を受けてください。



水温が高いときキャップを外すと、冷却 水には圧力がかかっていますので蒸気や (注意) 熱湯がふき出し危険です。水温が下がっ てから、布切れなどでキャップを包み、 静かに開けてください。

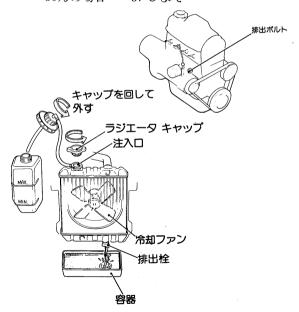
冷却水の交換

推奨交換時期	2	年	ت	٢	

指 定 液	*ホンダ純正ウルトラ ラジエータ液/
ラジエータ液 規 定 濃 度	30%(寒冷地は50%)
規定量	4.1ℓ (交換時) リザーバ タンク0.4ℓ含む

ラジエータ液濃度による不凍温度は

30%の場合 -16°C まで 50%の場合 -37°C まで



- 1. フロントグリルを開けラジエータ キャップを外し、次に排出栓を外し、冷却水を抜きます。(リザーバ タンクの冷却水も同時に抜きます。)
- 2. エンジン側の排出ボルトを外し、冷却水を抜き ます。

3. ラジエータの排出栓、エンジン側の排出ボルトを確実に締め付けます。

(参考)

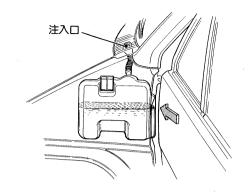
排出ボルト締付トルク 2.7~3.7kg-m

- 4. 室内のヒータの温度調節レバーを右端の位置にします。
- 5. 冷却水をラジエータの口元まで入れ、リザーバタンクにも上限(MAX)まで入れます。
- 6. ラジエータ キャップを注入口に当て、エンジンを始動し、約10分位アイドリング回転で暖機し、アッパ ホースを手でさわって流れが感じられることを確認します。
- 7. エンジンを止め、ラジエータ キャップを外して 液面を点検します。 液面が下がっていたら口元まで冷却水を補給し、 同時にリザーバ タンクにも上限まで補給します。
- 8. 再度、エンジンをかけて液面が下がらないことを確認し、ラジエータキャップを取り付けます。
- ●ラジエータ原液を規定濃度に薄めるときは上水道 (軟水)を使用してください。
- *ホシダ純正ウルトラ ラジエータ液 ″ の濃度を規 定以上に薄めないでください。防錆力が低下し錆 などの原因となることがあります。
- ●指定以外のラジエータ液や不適当な水を使用する と、錆などの原因となります。



水温が高いときキャップを外すと、冷却水には圧力がかかっていますので蒸気や熱湯がふき出し危険です。水温が下がってから、布切れなどでキャップを包み、静かに開けてください。

ウオツシャ液の補給



助手席ドアを開け、タンク内に洗浄液があることを 点検します。



点検の際に、ドアのすき間に指などをは さまないように充分注意してください。

注入口を開け、ウォッシャ タンクにウォッシャ液を 入れて水でうすめます。

● *ホンダ ウォッシャ液 * には凍結防止剤が入っていますので気温に合わせた濃度でお使いください。ウォッシャ液の濃度の使いわけおよび注意事項はウォッシャ液の容器に記載してあります。

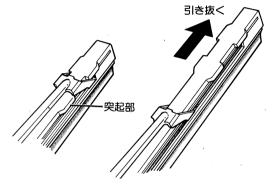
粗悪品や不凍液を使用すると塗装面などに害をあたえます。

前部ワイパと後部ワイパのウォッシャ タンクは兼用しています。

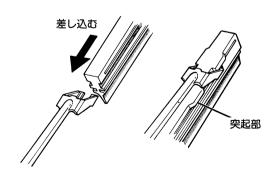
ワイパ ブレード ラバーの交換

ラバーが傷んでいると、ふきむらがあるばかりでな くウインド ガラスを傷付けることがありますので、 早めに交換してください。

1. ワイパ アームを起こし、ブレードの突起部が外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜きます。



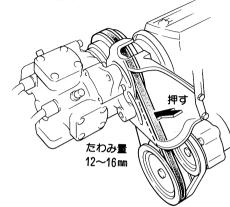
2. 突起部と反対側からラバーをブレードに沿って 差し込み、突起部を元の位置に入れます。



● ブレード ラバーを取り外したとき、アームを倒す とガラスに傷をつけることがあります。

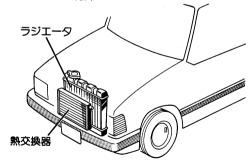
エア コンディショナの点検

●ベルトの点検



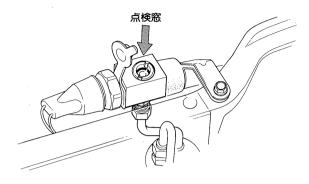
ベルトのゆるみ、損傷のないことを点検します。 張りはベルトの中央部を親指で強く押したとき (10 kgの荷重) のたわみが 12~16 mm が適正です。

●熱交換器の清掃



洗車の際は、熱交換器(ラジエータの前に取り付けられている) に付着している泥やゴミ、虫等、水を強くかけて洗い落とし、通気性をよくします。

●冷媒(ガス)量の点検



(無色透明) 冷媒なし



冷

冷媒量適正

(ほとんど透明です。エンジ) ン回転を上げ下げすると気 (泡が流れることがあります)

冷媒(ガス)が不足していると冷房性能が低下します。 エンジン回転を1,500回転くらいに上げて2~3分間冷房した後、点検窓で点検します。

冷媒(ガス)量が不足している場合は点検、補充を受けてください。

塗装の手入れ

●お車を美しく保つために

- 1. 走行後は塗装面に付着したほこりを、毛ばたきなどではらい落としましょう。
- 2. 次の場合は必ず洗車してください。
 - 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき。
 - 海岸地帯を走行したとき。以上のときは車体の下廻り、フェンダの内側を 特に念入りに洗ってください。
 - コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついた場合。

化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とし、必要に応じてポリシング ワックス (ワックス乳液)で磨いてください。

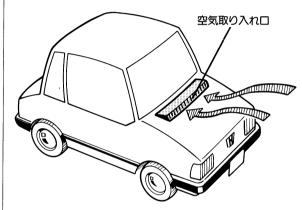
ポリシング ワックスは次のホンダ純正品をお使いください。

*ホンダ純正カー ワックスSoft汚れ落し剤"

- 3. 少なくとも月に一度は洗車してください。
- 4. とび石などによる塗装の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 5. 保管・駐車は風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。屋外に駐車する場合は、ボディ カバーをかけるようにしてください。

●洗車のしかた

- 1. 十分に水をかけながらスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 2. よごれがひどい箇所は中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 3. 水が、かわかないうちに拭き取ります。
- 故意に空気取り入れ口やエンジン ルーム内の電気 部品に水をかけないでください。



●ワックスがけのしかた

月に1回程度または水をはじかなくなったときに行ってください。

車体表面に水の残っていないことを確認し、日陰または車体表面が体温以下になっているとき行います。 ワックスは次のホンダ純正品をお使いください。

ホンダ純正カー ワックスSoft つや出し剤
ホンダ純正カー ワックスSoft 汚れ落し剤

●コンパウンド(みがき粉)入りのワックスは使用しないでください。

塗装面に細かい傷が残ることがあります。

冬期の整備と取り扱い

●エンジン オイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。

冬期に主として短距離、または市街地を運転される 方は、早めに交換してください。

外気温が-15℃以下になる地域 では冬期のみ**ホンダ 純正オイル ウルトラ-U(4サイクル四輪車用)** 10W - 30をご使用ください。

●ブレーキについて

屋外に駐車するときは凍結を防ぐため、駐車ブレーキを使わずにギヤを®(後退)か1速に入れておきます。

●雪道を走った後の手入れ

足まわりにこびりついた泥、雪はおとしてください。 その際には鋭利な棒などでたたいたりして車を傷つ けないでください。

●バッテリについて

気温が下がるとエンジン始動に支障をきたすことが ありますので液量、比重の確認をし、必要に応じて 補充電をしてください。

●ドアの凍結について

ドアが凍結したとき、無理に開けるとドアまわりの ゴムがはがれたりしますのでお湯をかけて氷を溶か してから開けてください。

ドアまわりの水分をふき取っておくと凍結防止に役立ちます。

●格納について

長期間使用しないで屋外に放置しておくときは塗装 面の保護とドア回りの凍結を防ぐために、ボディ カ バーを使います。



エンジン部を毛布で覆ったり、走行時に、フロント グリル内側に段ボールや、新聞紙をはさみ込んだりしないでください。これがもとで燃えだす危険があります。

サービス データ

項	目	サービス	データ	
点 火 ブ ラ グ	型 式	BR6EB-11 NGK BR6EB-L11:標準 BUR7EB-11	W20ESR-L11 ND W21ESR-L11:標準 W22EKR-S11	
	電極のすき間(mm)	1.0	~1.1	
エア コンディショナ ベルト	た わ み 量(mm)	12~16(10	Okgの荷重)	
ブレーキペダル	床板とのすき間(mm)	80以上(踏力20kg)		
	ペダルの遊び(mm)	1 :	~ 5	
クラッチペダル	床板とのすき間(mm)	15~20		
	ペダルの遊び(mm)	35以上(クラッチが切れたとき)		
駐車ブレーキレバー	引きしろ	4~8ノッチ(操作力20kg)		
ウオッシャ タンク	容 量(ℓ)	2	.0	
バッテリ	容 量(AH)	30 (Y60-N24T または NX60-N24T)	: 標準,47 (NX100-S6G):寒冷地用	
		前面方向指示灯/前面非常点滅灯———12V-21W	制動灯/尾灯・後面駐車灯 ———12V-27/5W	
		車幅灯/前面駐車灯12V-5W	後退灯————————————————————————————————————	
電 球(バルブ)	W(ワット)数	側面方向指示灯/側面非常点滅灯―――12V-5W	室内灯————————————————————————————————————	
		番号灯12V-8W	(サンルーフ装備車は8W) 後部ドア照明灯――――12V-3.4W	
		後面方向指示灯/後面非常点滅灯———12V-21W		

項	<u> </u>	サービス データ
燃料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン
燃 。 料	タンク容量(ℓ)	41
	交 換 時 期	5,000kmまたは 6 か月 <i>ごと</i>
エンジンオイル	指定オイル	ホンダ純正 HYPER オイル $(20\mathrm{W}-40)$ 、外気温が $-15^{\circ}\mathrm{C}$ 以下になる地域においては、冬期のみホンダ純正オイルウルトラ- $\mathrm{U}(4$ サイクル 4 輪車用) $10\mathrm{W}-30$
	規 定 量(ℓ)	3.0(オイル交換時)、3.5(オイル、オイル フィルタ同時交換時)
エンジン オイル フィルタ	推奨交換時期	10,000kmごと
	交 換 時 期	40,000km ごと
変速機オイル	推奨オイル	ホンダ純正オイル ウルトラ- $\mathrm{U}(4$ サイクル四輪車用)または API SE級以上のエンジン オイル
	規 定 量	2.5(交換時)
	推奨交換時期	2 年ごと
 冷 却 水	指 定 液	ホンダ純正ウルトラ ラジエータ液
冷 却 水 規 定 濃 度 30%(寒冷地50%)		30%(寒冷地50%)
	規 定 量(ℓ)	4.1(交換時 リザーバ タンク 0.4ℓを含む)
ブ レ ー キ 液	指 定 液	ホンダ ブレーキ フルード DOT3
エア クリーナろ紙部(エレメント)	推奨交換時期	2年ごと

タイヤ仕様、サイズ		策、サイズ	標準タイヤ	応急用スペア タイヤ
頁 目			185/60 R 13 80 H	T 105/80 D 13
が から が から が から がら がら から がら から がら から がら から	一般	1.8	4.2	
	月り 早冊	高速	1.8	4.2
	分 公 ★△	一般	1.8	4.2
	1友 特丽	高 速	1.8	4.2
11 / 44 / ¬"	スチール	ホイール	5 — J ×13	4 - T ×13
リム サイズ アルミ オ		イール	5 — J ×13	
タイヤの残溝の深さ(mm)) 1	1.6以上	1.6以上
位置交換時期(タイヤ ローテーション)		-ション)	5,000kmごと	

主要諸元値

		シティ TV	URBO II			
全	長 (m)	3.420	最小回転半径(m)		4.6(車体5.0)	
全	幅 (m)	1.625	最大安定傾	斜角度(。)	左50 右50	
全	高 (m)	1.470		1 速	2.916	
軸	距 (m)	2.220		2 速	1.764	
輪 距 (m)	前	1.400	変 速 比	3 速	1.181	
#細 『片(川)	後	1.390		交 迷	4 速	0.846
最低地_	上 高 (m)	0.160		5 速	0.655	
車 両 重	量(kg)	735<745>		後退	2.916	
乗 車 定 員(名)		5	減 速 比		4.066	
	長 さ	1.615			· · · · · · · · · · /	
客室内寸法(m)	幅	1.310				
	高さ	1.175				
エンジン種類	、シリンダ数	ガソリン 4サイクル 直列4気筒 横置				
総 排 気	量 (cm ³)	1,231				
内 径 × 彳	行 程 (mm)	66.0×90.0				
圧 縮	站 比	7.6				
燃料タンク	'容量 (ℓ)	41				
最高出力	(PS/rpm)	110/5,500				
最大トルク(kg-m/rpm) 16.3/3,000						
登坂能	力 (tanθ)	0.66				

く 〉内はサンルーフ装備車

索引

P		
安全·····	.2,	4
アンテナ		·20
アンプ	• • • • • •	·23
7		
いざというときには	• • • • •	·36
ウ		
ウオッシャ液		· 62
ウオッシャ液噴射スイッチ		·13
運行前点検······		· 41
運転操作		.6
エア クリーナ	••••	-60
エア コンディショナ	32,	63
エンジン オイル45,	52,	60

エンジン オイル フィルタ······67 エンジン スイッチ·····12

エンジンのかけかた……30

才	
追越合図	13
応急処置······	39
オーバーヒート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
9	
カセット プレーヤ	22
クール ポケット	24
クラッチ	52
ケ	
計器······	8, 9
警告灯	10
経済走行······	7
けん引	37
公害防止	2
工具	56
後写鏡	20, 42
後部ドア	26
後部ドア照明灯	26
後面ガラス曇り取りスイッチ	14
故障、修理⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	36, 37

小物入れ……24

#

サービス データ6	7
サンバイザ2	0
サンシェード2	8
サンルーフ2	7
シガレット ライタ2	3
室内装備の使いかた1	6
室内灯2	5
シート1	6
シート ベルト・・・・・・・・・・・・・・・・・4, 1	8
車検証ポケット2	4
	8
ジャツキ5	6
触媒装置·······	3
純正部品	3
諸元値6	9
スペア タイヤ(応急用スペア タイヤ)5	6
. 洗車64	4
センタ ポケット2	4
センタ コンソール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4

	7			
4	相談窓口		·表絍	裹
D				
,	タイヤ47,	50,	51,	56
,	タイヤ チエン		•••••	-38
F				
Ę	駐車灯スイッチ			·15
	駐車プレーキ			
Ŧ	<u>.</u>			
-	テール ゲート			·25
,	点火プラグ	•••••	•••••	-66
1	電球·····	•••••	•••••	.39
5	点検 , 整備······3,6,	41,	48,	56
ê	電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)…	•••••	•••••	.6
١	ドア		•••••	·25
Ŧ	冬期の整備と取り扱い			·65
;	<u> </u>			-64

	燃料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·6.	43
	燃料補給口		
			-23
Ü	·		
	灰皿	• • • • •	·23
	/バッテリ39,	52,	59
	発電機ベルト		
	70-8 ISC 901	70,	00
	非常点滅灯スイツチ	• • • • • •	·15
	非常発炎筒		.36
	ヒータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		.32
	ヒューズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	表示灯·····		·10
_			
-			
	ファン ベルト	· 45,	53
	ブレーキ		
	ブレーキ液量44,	50,	58
	変速機オイル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		· 67
	変速レバー		
	タ 体 レ ハ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		JI

常

派

防眩式室内後写鏡20
方向指示器スイツチ13
補助前照灯スイツチ15
ボディ ソニック オーディオ装置20
ボンネット29
5
ライト スイッチ12
ラジエータ・・・・・・・45
ラジオ・・・・・・21
冷却水53,61,62
冷却装置45
6か月点検48
ワイパ スイッチ13
ワイパ ブレード ラバー63
ワックスがけ64